

平成25年度決算に係る

定期監査
決算審査
調査
調書

平成26年8月

福祉保健部健康医療局健康政策課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	2 頁
4	職員の定員、現員調べ	2 頁
5	役付職員の調べ	2 頁
6	主な事業に関する調べ	3 頁
7	決算調書（総括表）	1 6 頁
8	事業別実施状況調べ	1 7 頁
9	予備費の充用調べ	3 4 頁
10	繰越関係調べ	3 5 頁
	(1) 継続費逐次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
11	収入証紙取扱額調べ	3 5 頁
12	収入事務処理状況調べ	3 6 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 寄付金	
	(6) 諸収入	
	(7) 現金の取扱状況	
13	税外収入未済額調べ	3 8 頁
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	3 8 頁
15	税外収入不納欠損額調べ	3 8 頁
16	債務負担行為の状況調べ	3 8 頁
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	3 9 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(2-2) 補助金（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
	(4-2) 委託料（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
18	工事請負費調べ	5 3 頁
18-2	工事請負費調べ（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	5 3 頁
19	財産に関する調べ	5 4 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
20	財産の貸付及び使用許可調べ	5 8 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの）	
21	借受不動産明細調べ	5 9 頁
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	5 9 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
23	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	5 9 頁
24	寄附物件の受納状況調べ	5 9 頁
25	備品の処分状況調べ	6 0 頁
26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	6 1 頁
27	貸付金等状況調べ	6 1 頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	6 1 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項 該当なし

(2) 監査意見

監査意見	処理状況等
<p>がん対策について</p> <p>市町村における受診率だけでなく、就業形態別のがん検診受診率の実態を把握し、効果的な啓発活動を行うとともに、がん検診推進パートナー企業の認定について、東中西部毎の目標を定めてより積極的な取組を進められたい。</p>	<p>平成26年5月に協会けんぽ鳥取支部と健康づくり推進に向けた包括的連携協定を締結し、協会けんぽから検診データを提供していただいている。協会けんぽでは、生活習慣病予防健診（がん検診含む）の業態別受診率を把握していることから、これらのデータを活用し、協会けんぽと連携して受診率向上に向けた取組を行っている。（協会けんぽと連携し、検診受診率の向上や健康づくりに取り組んだ企業にポイントを付与し、優良企業を表彰する健康マイレージ事業を実施している。）</p> <p>なお、パートナー企業の認定については、東・中・西各局（所）ごとの認定目標数を設定し、認定数の増加に向けて働きかけを行っている。</p> <p>(25年度実績)</p> <p>東部：目標60→実績60 中部：目標なし→実績79 西部：目標60→実績35</p>

(3) 決算審査意見

決算審査意見	処理状況等
<p>精神保健福祉センターについて</p> <p>精神保健福祉センターでは、県民の心の健康づくりと精神障がい者の社会復帰、社会参加の促進の援助のため、啓発相談、研修、調査研究、判定業務など多岐にわたる事業を行っています。</p> <p>近年、ひきこもりや発達障がい等の相談、並びに家族からの相談など、医療機関での対応が難しい事業の増加により、当該センターの役割はますます重要になっています。</p> <p>当該センターは、精神保健福祉にとって重要な活動をしているにも関わらず、医師は所長一人であり、医師の複数体制か、保健師など保健医療の知識を持ったスタッフの充実を図るべきであります。</p> <p>併せて、人材育成及び連携強化の観点から、当該センターをフィールドワークの場として、鳥取大学医学部、県立病院等に医師の派遣を要請し、人的交流を検討する必要があります。</p> <p>また、現在ほとんど使われていない施設があるなど、効果的な施設の活用とは言い難い状況です。相談室を増やすなど、現在のサービスに即した施設のあり方についても検討する必要があります。</p>	<p>精神保健福祉相談は年々増加しており、精神保健福祉の技術的中枢機関としての機能を担う精神保健福祉センターの役割は益々大きくなっていきます。</p> <p>ご指摘のように、医師は所長1名ですが、精神保健福祉士、心理判定員、保健師などの専門職を適所に配置するとともに、保健所、市町村、医療機関等と連携することで、複雑かつ多様な精神保健相談に対応しています。</p> <p>当該センターと医療機関との人的交流は、職員の資質向上や連携強化の観点からも有益なことですが、それぞれの果たす役割の違いや医師不足などの現状を考慮すると課題も多く、これまで以上に相互の連携を強化していくことで、相談業務の円滑な運営に努めていきます。</p> <p>さらに、過去に障がい者デイケアに使用されていた調理実習室や多目的実習室等は、現在ではできるだけ相談室として使用（個人情報の問題もあり、複数の相談室が必要）しており、年々増加する相談業務に有効活用しています。</p>

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係(担当)名	課の主な所掌事務
健康医療局健康政策課	がん・生活習慣病対策室	(1) がん対策に関すること (2) 生活習慣病の対策に関すること (3) 難病に関すること
	健康づくり文化創造担当	(4) 健康増進対策に関すること (5) 自殺対策に関すること (6) 栄養の改善及び指導に関すること
	感染症・新型インフルエンザ対策室	(7) 新型インフルエンザ対策に関すること (8) 感染症(結核を含む)その他の疾病の予防に関すること (9) ハンセン病に関すること

4 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	26.4.1 現在	25.4.1 現在	26.4.1 現在	25.4.1 現在	26.4.1 現在	25.4.1 現在	26.4.1 現在	25.4.1 現在	
定員	10	10	9	9	0	0	19	19	
現員	(0) 12	(0) 12	(0) 7	(0) 7	(0) 0	(0) 0	(0) 19	(0) 19	
過不足(△)	2	2	△2	△2	0	0	0	0	※事務振替2
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	4	4	0	0	0	0	4	4	※一般事務3名 事務補助1名

5 役付職員の調べ

(平成26年8月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
健康医療局長	藤井 秀樹	3	1	福祉保健部次長(1年0月) 医療政策監(2年3月)
課長	細川 淳	1	4	
がん・生活習慣病対策室長	村上 健一	1	4	
感染症・新型インフルエンザ対策室長	住田 剛彦	1	4	
課長補佐	長岡 孝	3	4	うち総括補佐3月
課長補佐	米田 裕一	0	4	
課長補佐	蔵内 康雄	0	4	
課長補佐	田中 丈士	0	4	

事業名	概要	要																								
<p>ココカラげんき鳥取県推進事業</p> <p>決算額 9,010千円</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 0千円 一般財源 8,983千円 その他 27千円</p> <p>○将来ビジョン V 支え合う (4)「あんしん医療体制」構築と「健康づくり文化」の創造</p> <p>○政策項目 Ⅲ 暮らしに安心 ⑧-2 生活習慣病対策の推進</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 県民一人ひとりが健康づくりの大切さを認識し、日常的に、地域全体で良い生活習慣を实践しようという機運を盛り上げ、世代を超えて受け継がれていく「健康づくり文化」の創造へ繋げる。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>普及啓発 ○社員の健康づくり推進研修会の開催事業 社員の健康管理の重要性について十分な理解を持つ事業所を増やしていくため、協会けんぽ鳥取支部及び鳥取労働局と連携し、県内の事業所を対象とした研修会を開催した。</p> <p>(1) 研修会名称 働き盛り社員の「健康づくりセミナー」 ～社員の皆さんの健康管理はできていますか?～</p> <p>(2) 開催場所・時期・参加人数等</p> <table border="1" data-bbox="619 654 1377 772"> <thead> <tr> <th>開催場所</th> <th>時期</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>倉吉未来中心</td> <td>6月14日(金)</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>とりぎん文化会館</td> <td>6月20日(木)</td> <td>107人</td> </tr> <tr> <td>米子コンベンションセンター</td> <td>6月21日(金)</td> <td>89人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※開催時間は、いずれも午後1時半～4時半(3時間程度)</p> <p>(3) 開催形態 主催：協会けんぽ鳥取支部、共催：鳥取県、鳥取労働局</p> <p>○「健康づくり文化」推進事業 健康づくりを自ら習慣的に行う「健康づくり文化」を県民に根付かせていくため、県民に健康づくりを日ごろから意識してもらうための広報活動を展開した。</p> <p>(1) とっとり健康づくり大使佐々木えるざさんによるPR とっとり健康づくり大使に、PR効果の高い県内の健康づくり等のイベントに参加、出演してもらい、本県の健康づくりの取組をPRした。</p> <p>(2) とっとり健康家族ポータルサイトの運用 平成24年度事業で構築した「とっとり健康家族ポータルサイト」を運用し、「えるざとげんきトリピーの健康ブログ」等により、県民へ、健康づくりの取組について情報発信した。 また、ポータルサイトの安定的な運用のため、保守管理を構築業者に委託した。</p> <p>○禁煙推進事業 世界禁煙デー協賛事業の実施等(県機関一日禁煙デー他)</p> <p>○健康づくり応援施設(団)支援事業 「運動」「食事」「禁煙」について積極的に取組を行っている施設、団体等を「健康づくり応援施設(団)」として認定し、その取組を広く情報発信し、県民の健康づくりに取り組める環境整備を推進した。 【平成25年度末現在の状況】(単位：施設)</p> <table border="1" data-bbox="603 1518 1204 1608"> <thead> <tr> <th></th> <th>運動</th> <th>食事</th> <th>禁煙</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定施設</td> <td>35</td> <td>162</td> <td>1,517</td> </tr> <tr> <td>認定団</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※禁煙分野のうち敷地内禁煙の施設：421施設</p> <p>○職員人件費(東・中・西部福祉保健局非常勤職員各1名) 健康づくり文化創造事業の普及啓発</p> <p>推進体制整備 ○健康づくり文化創造推進県民会議 本県が目指す「健康づくり文化」の推進のため、具体的な施策を検討・推進していくため、県民会議を設置しているが、平成25年度は、主要委員の日程調整がつかず、開催することができなかった。</p> <p>【参考：県民会議の主な構成団体】 職 域：商工会連合会、連合鳥取等 専 門：健康運動指導士会、医師会等 関係団体：PTA協議会、連合婦人会 学 識：鳥大、鳥取短大</p>	開催場所	時期	参加人数	倉吉未来中心	6月14日(金)	58人	とりぎん文化会館	6月20日(木)	107人	米子コンベンションセンター	6月21日(金)	89人		運動	食事	禁煙	認定施設	35	162	1,517	認定団	8	1	1	
開催場所	時期	参加人数																								
倉吉未来中心	6月14日(金)	58人																								
とりぎん文化会館	6月20日(木)	107人																								
米子コンベンションセンター	6月21日(金)	89人																								
	運動	食事	禁煙																							
認定施設	35	162	1,517																							
認定団	8	1	1																							

事業名	概要
	<p>イ 平成25年度実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社員の健康づくり推進研修会の開催事業 研修会開催の目的は、社員の健康管理の重要性について十分な理解を持つ事業所を増やすことであり、セミナーに県内の多くの事業所からの参加が得られるよう、鳥取労働局や被保険者数で県内の被用者保険の約8割を占める協会けんぽ鳥取支部との連携を図りながら実施した。 ・「健康づくり文化」推進事業 健康づくり大使の派遣について、「健康づくり文化」が、できるだけ多くの県民への周知に繋がるよう、これまで同様、“人が集まる”イベントへの派遣に努めた。また、本課が実施する事業との相乗効果を高めるため、本課実施事業の中でも健康づくり大使の活用を行った。 さらに、平成23年度に構築した「とっとり健康家族ポータルサイト」による健康づくりの情報発信として、県民に健康づくりを身近なものとして感じてもらえるよう「健康ブログ」の配信などを行った。 ・健康づくり応援施設（団）支援事業 引き続き、認定施設（団）の増加に努めるとともに、健康づくり応援施設（団）は鳥取県の健康づくりの情報発信に協力することとされているため、健康づくり応援施設（団）を有効に活用し、情報発信にも努めた。 ・健康づくり文化創造推進県民会議 平成25年度は、主要委員の日程調整がつかず、開催することができなかった。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社員の健康づくり推進研修会の開催事業 協会けんぽ鳥取支部と連携を図ったことで、協会けんぽに加入する県内8,500の事業所に参加募集をかけることができ、一定の参加者数を得ることができた。 また、鳥取労働局と連携を図ったことで、セミナーの中で、「職場のメンタルヘルス対策」といった労働衛生行政関係のテーマについても触れることができ、幅広い内容でのセミナー実施に繋がった。 ・「健康づくり文化」推進事業 全国都市緑化フェアなど多くの人が集まるイベント会場でPRしたことにより、幅広い層に健康づくりに関心を持ってもらうことができた。 また、働き盛り社員の「健康づくりセミナー」に健康づくり大使を派遣し、セミナーの合間に健康体操を実施したことで、セミナー参加者からは、「手軽にできる運動が学べたほか、ちょうど良い息抜きとなり、セミナー後半も集中して聞けた。」など、よい評価を得ることができた。 さらに、「とっとり健康家族ポータルサイト」による「健康ブログ」の配信については、健康づくり大使による身近な健康づくりの話題やげんきトリピーの健康づくりの取組状況をブログ配信し、県民に健康づくりを身近なものとして感じてもらえるきっかけとなった。 ・健康づくり応援施設（団）支援事業 健康づくり応援施設（団）が増加し、特に禁煙施設が、昨年度から211施設も増加した。 また、とっとり健康家族ポータルサイトのPRチラシを健康づくり応援施設（団）を通じ配布・掲示してもらえ、効果的なPRに繋がった。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康づくり文化」の創造は、一朝一夕に達成できるものではなく、県民一人ひとりの理解とそれに基づいた実践が必要である。具体的には、適度な運動とバランスの取れた適量の食事を意識した日々の健康づくりの習慣を身に付けて達成されるものであり、そのためには地道にはあるが、引き続き普及啓発を行っていき、「健康づくり文化」を県民の生活の中に浸透させていくことが必要である。 ・また、働き盛り世代に仕事への負担が増加している中、働き盛り世代の健康管理対策をさらに強化していく必要があり、鳥取労働局はもとより、特に協会けんぽ鳥取支部との更なる連携強化が必要である。

事業名	概	要																
ウォーキング立県 とっとり事業 決算額 5,901千円 (財源内訳) 国庫支出金 0千円 一般財源 5,901千円 その他 0千円 ○将来ビジョン V支え合う (4)「あんしん医療 体制」構築と「健康 づくり文化」の創造 ○政策項目 Ⅲ暮らしに安心 ⑧-2 生活習慣病対 策の推進	ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 県民の運動習慣を定着させるため、誰でも手軽に取り組める運動としてウォーキングを普及させ、県民が日常的にウォーキングに取り組む「ウォーキング立県」を目指す。 (イ) 事業の実施状況 ケータイで健康づくりウォーキング推進事業	平成23年度事業で構築した鳥取県ケータイで健康づくりウォーキングシステム「とりっぼ(歩)」を効果的に活用し、更なるウォーキングの普及と日常的な運動習慣の定着を図った。 【実施内容】 (1) システム運営委託 記念品発送、利用者対応等の事務を「ウォーキング立県19のまちを歩こう事業実行委員会」に委託(記念品の内容) ・記念バッジ(総歩行距離数が一定距離に達した者) ・認定証(年間歩行距離数が20位以内にランキングした者) ・特産品(月間歩行距離数10km以上を記録し抽選により当選した者(毎月6名)) (2) システム保守管理委託 システムの保守管理をシステム構築業者に委託 ※とりっぼ(歩)の会員登録者数：H25年度末で約900人																
	ウォーキング立県19の まちを歩こう事業	県民がウォーキングに取り組むきっかけづくりとして、実行委員会が認定する県内のウォーキング大会に参加し、3ポイント又は5ポイント集め応募した者に認定証を進呈するとともに、年2回の締め切り日ごとに抽選で県産品を贈呈する取組を実施した。 【実施概要】 (1) 実施方法 関係団体代表者で構成する「ウォーキング立県19のまちを歩こう事業実行委員会」に委託して実施。(実行委員会は年2回開催。) (2) 実施期間 平成25年4月1日～平成26年3月31日 (3) 認定大会 74大会 (4) パスポート・ポイントシールの配布 パスポート 約8,000部 ポイントシール 約10,100枚 (5) 応募・抽選状況 <table border="1" data-bbox="813 1440 1441 1559"> <thead> <tr> <th></th> <th>3ポイント</th> <th>5ポイント</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一次締め切り</td> <td>13(25)</td> <td>162(55)</td> <td>175(80)</td> </tr> <tr> <td>二次締め切り</td> <td>27(25)</td> <td>109(55)</td> <td>136(80)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>40(50)</td> <td>271(110)</td> <td>311(160)</td> </tr> </tbody> </table> ※()内は当選枠 ※当選枠を超えたものについては抽選を実施		3ポイント	5ポイント	計	一次締め切り	13(25)	162(55)	175(80)	二次締め切り	27(25)	109(55)	136(80)	計	40(50)	271(110)	311(160)
	3ポイント	5ポイント	計															
一次締め切り	13(25)	162(55)	175(80)															
二次締め切り	27(25)	109(55)	136(80)															
計	40(50)	271(110)	311(160)															
	ウォーキング立県推進事 業補助金	ウォーキングしやすい環境づくりのため、ウォーキング大会を新規・拡充して開催する団体や市町村にウォーキング大会の開催経費を補助した。 ・新規大会：補助率1/2、上限250,000円 ・拡充大会：補助率1/2、上限100,000円 【交付実績】 ・新規大会(補助額計：1,310,000円) 第1回ノルディック・ウォークさかいみなど(申請者：全日本ノルディックウォーク連盟鳥取県西部支部)など、計7件、 ・拡充大会(補助額計：32,000円) 第2回エンジョイウォーキング大会(申請者：米子ケヤキ通り振興会)計1件																

事業名	概要
	<p>イ 平成25年度実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケータイで健康づくりウォーキング推進事業 「とりっぼ(歩)」について、継続して利用してもらうことが課題の一つとなっていたため、平成25年度から、毎月、「とりっぼ(歩)」を使って10km以上歩いた方の中から抽選で6名の方に鳥取県の特産品が当たる取組を実施した。 また、会員を増やす取組としては、まず「とりっぼ(歩)」について知ってもらうため、ウォーキング大会会場等でのチラシ配布等により、「とりっぼ(歩)」の周知に努めた。 ・ウォーキング立県19のまちを歩こう事業 事業については、認定大会、応募者数ともに年を追って順調に増えている状況であるので、例年どおり確実な事業実施、広報を行ったほか、参加者からの意見を聞き、改善できる点は速やかに改善するように努めた。 ・ウォーキング立県推進事業補助金 例年、一定程度の補助金申請があり、新規大会の増加に繋がっている状況であるので、例年どおり確実な事業実施、広報に努めた。 なお、「とりっぼ(歩)」の利用促進に繋げるため、補助金の交付条件に、「大会参加者に「とりっぼ(歩)」の登録・利用を呼びかけるなど、「とりっぼ(歩)」の普及に積極的に協力すること。」を追加した。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケータイで健康づくりウォーキング推進事業 毎月、「とりっぼ(歩)」を使って10km以上歩いた方の中から抽選で6名の方に鳥取県の特産品が当たる取組を実施したことにより、減少傾向にあった毎月の利用者数が徐々に増え、平成24年度末で一月の利用者数が40人程度であったところ、毎月の利用者数が60人程度に増加した。 また、ウォーキング大会会場等で、地道に「とりっぼ(歩)」の広報を行った結果、会員は徐々に増え、平成25年度末で900人に達した。 ・ウォーキング立県19のまちを歩こう事業 確実な事業実施、広報を行い、認定大会として登録のあった大会は、全部で74大会となり、平成24年度の52大会から増加した。 また、応募状況も平成24年度の239名から、311名へと増加した。 ・ウォーキング立県推進事業補助金 新規大会として本補助金を活用したものは7大会あり、新規ウォーキング大会の増加に繋がった。 また、補助金の交付条件として「とりっぼ(歩)」の普及に積極的に協力することを追加したことにより、大会の開会式等で確実に「とりっぼ(歩)」のことをPRしてもらえるようになった。 <p>エ 課題</p> <p>「とりっぼ(歩)」については、日常生活でウォーキングに取り組む者の増加に繋げていくため、引き続き、会員数を更に増やしていく取組に加え、継続して利用したいと思ってもらえるような取組を行っていくことが必要である。</p> <p>ウォーキング大会におけるウォーキングの普及については、平成24年度に続き、平成25年度も県内のほぼ全ての市町村でウォーキング大会が開催されたほか、19のまちを歩こう事業が県民に広く周知されてきているなど、県民にウォーキング大会に参加してもらえる仕組みは整っていきつつある。</p> <p>ただし、ウォーキング立県推進事業補助金について、せっかく補助を行い新規大会を開催してもらっても、当該年度限りでの大会開催となってしまっている例も少なくなく、主催者側に、翌年度以降も継続して開催してもらえるよう働きかけていくなどの取組が必要である。</p> <p>なお、ウォーキングの取組について、全般的に言えることであるが、普段歩いている人が事業(「とりっぼ(歩)」や19のまちを歩こう事業)を利用しているケースが多く、普段歩いていない人に歩いてもらう仕組みづくりは今後もアイデアを絞りながら検討していく必要がある。</p> <p>いずれにしても、県民の健康づくりの習慣を浸透させていくためには、息の長い継続した取組が重要であり、平成26年度以降も地道に事業に取り組んでいくことが必要である。</p>

事業名	概	要								
<p>食育地域ネットワーク強化事業</p> <p>決算額 1,599千円 (財源内訳) 国庫支出金 0千円 一般財源 1,599千円 その他 0千円</p> <p>○将来ビジョン V 支え合う (4)「安心医療体制」構築と「健康づくり文化」の創造 VI 育む (2-4) 家庭・地域の教育力を確立し、地域社会を支える「人財」を「地域循環型」教育の推進</p> <p>○政策項目 II 人権、福祉、環境先進県チーム 020 メタボリック症候群防止対策、がん診療体制の充実など、県民の健康を支える地域づくりを推進し、生活習慣病による死亡率の全国水準を目標とした減少へ努力</p> <p>III 教育文化振興・子育て支援チーム 100 食農教育・食育など、食と健康等に関する学習機会の充実</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 県民一人ひとりが食の大切さを認識し、健全な食生活を実践する知恵と習慣を身につけるために、食育活動を末永く地域に根付かせていく(食育活動の地域への定着)。食育活動が、今後も継続され充実していくよう、食育実践者同士のネットワークづくり、指導者の育成を行う(食育実践者同士のネットワーク強化、指導者育成)</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <table border="1" data-bbox="446 526 1476 1713"> <tr> <td data-bbox="454 526 805 806">食育推進活動知事表彰</td> <td data-bbox="813 526 1476 806"> <p>食育に携わる者に希望を与え、食育活動のさらなる推進と県民の食育意識の高揚を図るため、特に地域の特性を活かし、積極的に取り組んでいる活動を知事が表彰した。また、受賞団体の活動を紹介する事例集を作成し、関係機関や県民に食育の活動事例を周知した。</p> <p>〔推薦件数〕 7件(団体) *推薦は、自薦・他薦を問わない。 〔表彰件数〕 2件(団体) 〔表彰式〕 26年3月17日(月) 県庁第4応接室</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="454 817 805 1209">幼児の心と体を育てるクッキング活動実践モデル事業</td> <td data-bbox="813 817 1476 1209"> <p>幼児主体の体験を重視した食育を推進するため、24年度に作成した「幼児の心と体を育むクッキング活動指導の手引き」を活用して指導者研修会を開催するとともに、保育園や幼稚園においてモデル事業を実施した。</p> <p>〔指導者研修会(6回延べ参加者252名)〕 講師 キッズキッチン協会会長、県内実践者等 講演 「クッキング活動の心得・流れ」「子どもの発達と食育」等 演習 「活動準備の実際」「ロールプレー」 グループワーク・意見交換 〔モデル事業(8施設、8回、対象：幼児212名)〕 〔実践報告会(3回延べ参加者102名)〕</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="454 1220 805 1556">食育推進ネットワーク交流会</td> <td data-bbox="813 1220 1476 1556"> <p>様々な実践者によって主体的に行われている食育活動が、今後も継続され、充実していくよう、食育実践者同士の情報共有、ネットワーク強化を図るため、ネットワーク交流会、連絡調整会議を開催した(4回延べ参加者131名)</p> <p>〔内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育推進活動知事表彰受賞団体の活動紹介 ・地域活動団体の取組紹介 ・講演「『食』を通して『心』を育む」 ・圏域の特性を生かした効果的な食育実践のため等の意見交換 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="454 1568 805 1702">食育推進会議(健康を支える食文化専門会議)</td> <td data-bbox="813 1568 1476 1702"> <p>食育に関わる関係機関の協力を得て、平成25年3月に「食のみやこととり～食育プラン～(第二次計画、平成25～29年度)」を作成した。食育プランを食育関係者等へ周知した。</p> </td> </tr> </table>	食育推進活動知事表彰	<p>食育に携わる者に希望を与え、食育活動のさらなる推進と県民の食育意識の高揚を図るため、特に地域の特性を活かし、積極的に取り組んでいる活動を知事が表彰した。また、受賞団体の活動を紹介する事例集を作成し、関係機関や県民に食育の活動事例を周知した。</p> <p>〔推薦件数〕 7件(団体) *推薦は、自薦・他薦を問わない。 〔表彰件数〕 2件(団体) 〔表彰式〕 26年3月17日(月) 県庁第4応接室</p>	幼児の心と体を育てるクッキング活動実践モデル事業	<p>幼児主体の体験を重視した食育を推進するため、24年度に作成した「幼児の心と体を育むクッキング活動指導の手引き」を活用して指導者研修会を開催するとともに、保育園や幼稚園においてモデル事業を実施した。</p> <p>〔指導者研修会(6回延べ参加者252名)〕 講師 キッズキッチン協会会長、県内実践者等 講演 「クッキング活動の心得・流れ」「子どもの発達と食育」等 演習 「活動準備の実際」「ロールプレー」 グループワーク・意見交換 〔モデル事業(8施設、8回、対象：幼児212名)〕 〔実践報告会(3回延べ参加者102名)〕</p>	食育推進ネットワーク交流会	<p>様々な実践者によって主体的に行われている食育活動が、今後も継続され、充実していくよう、食育実践者同士の情報共有、ネットワーク強化を図るため、ネットワーク交流会、連絡調整会議を開催した(4回延べ参加者131名)</p> <p>〔内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育推進活動知事表彰受賞団体の活動紹介 ・地域活動団体の取組紹介 ・講演「『食』を通して『心』を育む」 ・圏域の特性を生かした効果的な食育実践のため等の意見交換 	食育推進会議(健康を支える食文化専門会議)	<p>食育に関わる関係機関の協力を得て、平成25年3月に「食のみやこととり～食育プラン～(第二次計画、平成25～29年度)」を作成した。食育プランを食育関係者等へ周知した。</p>	<p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 平成25年3月に作成した「食のみやこととり～食育プラン～(第二次計画、平成29年度まで)」では、今後の鳥取県における食育として、「豊かな人間性を育む食育～『栽培・料理・共食』の実践～」、「食のみやこである鳥取県の特性を生かした食育」を基本指針として取り組むこととした。 事業実施に当たっては、この2つの指針を基本として、県民自らの食育実践に繋がる食育活動を地域で実施できるよう、指導者育成及びネットワーク強化に努めた。</p>
食育推進活動知事表彰	<p>食育に携わる者に希望を与え、食育活動のさらなる推進と県民の食育意識の高揚を図るため、特に地域の特性を活かし、積極的に取り組んでいる活動を知事が表彰した。また、受賞団体の活動を紹介する事例集を作成し、関係機関や県民に食育の活動事例を周知した。</p> <p>〔推薦件数〕 7件(団体) *推薦は、自薦・他薦を問わない。 〔表彰件数〕 2件(団体) 〔表彰式〕 26年3月17日(月) 県庁第4応接室</p>									
幼児の心と体を育てるクッキング活動実践モデル事業	<p>幼児主体の体験を重視した食育を推進するため、24年度に作成した「幼児の心と体を育むクッキング活動指導の手引き」を活用して指導者研修会を開催するとともに、保育園や幼稚園においてモデル事業を実施した。</p> <p>〔指導者研修会(6回延べ参加者252名)〕 講師 キッズキッチン協会会長、県内実践者等 講演 「クッキング活動の心得・流れ」「子どもの発達と食育」等 演習 「活動準備の実際」「ロールプレー」 グループワーク・意見交換 〔モデル事業(8施設、8回、対象：幼児212名)〕 〔実践報告会(3回延べ参加者102名)〕</p>									
食育推進ネットワーク交流会	<p>様々な実践者によって主体的に行われている食育活動が、今後も継続され、充実していくよう、食育実践者同士の情報共有、ネットワーク強化を図るため、ネットワーク交流会、連絡調整会議を開催した(4回延べ参加者131名)</p> <p>〔内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育推進活動知事表彰受賞団体の活動紹介 ・地域活動団体の取組紹介 ・講演「『食』を通して『心』を育む」 ・圏域の特性を生かした効果的な食育実践のため等の意見交換 									
食育推進会議(健康を支える食文化専門会議)	<p>食育に関わる関係機関の協力を得て、平成25年3月に「食のみやこととり～食育プラン～(第二次計画、平成25～29年度)」を作成した。食育プランを食育関係者等へ周知した。</p>									

事業名	概要
	<p>ウ 成果</p> <p>○食育推進活動知事表彰 受賞団体からは、今後の活動の励みになった、さらに活動がんばりたいという声があり、活動の継続や充実が期待できる。 また、表彰事例集を作成し広く周知したことや、知事表彰事例として活動報告の場ができたことで、活動を知らなかった県民へ様子を伝えることができた。 推薦候補の選定を自薦他薦を問わず公募としたことで、地域で地道に取り組まれている活動の様子を把握できた。 また、24年度表彰を受賞した団体のうち「絵本と食育『はらべこおおむし』」が、食育推進ボランティアに対する内閣府特命担当大臣表彰（年10件程度）を受賞するとともに、内閣府が毎年発行する食育白書（平成25年度）で地域に根ざした民間団体の取組事例として紹介された。</p> <p>○幼児の心と体を育てるクッキング活動実践モデル事業 【保育所における継続実施に向けて、市町の主体的な取組に繋がった。】 ・市町と共催で研修会やモデル事業を実施したところ、市町の単独事業として活動が継続されている。 【幼児の体験型食育を実践する上での心構え、指導のポイントを指導者が理解できた。】 参考：研修会等参加者の感想 ・子どもに合った道具の使い方があることを知った。（安全にピーラーを使うための野菜の置き方 等） ・大人が指示を出しすぎず、見守る姿勢。肯定的な言葉がけで楽しい活動にする。など指導者の心得が大事。 ・本物を使って全体を見せる（切り身と1尾の魚）ことで、子どもの五感を育てられる。 ・子ども目線で、できる方法を伝えることができたと思う。</p> <p>○食育推進ネットワーク交流会 交流会参加者からは、「食育推進のアイデアをもらうことができ、次に繋がるもの」「交流会を通してより交流が深まればいい」「こういう機会がないのでよい機会だった」との感想が聞かれた。今後、交流会での学びや気づきが地域における食育活動の充実に繋がることが期待できる。</p> <p>エ 課題</p> <p>県内の食育実践団体からは、活動事例の紹介、情報交換会や研修会の開催等を望む声があり、これらの地域の要請に応え、県内の食育活動の継続を支援するためにも、今後も継続して関係者の取組の支援を行う必要がある。</p>

事業名	概要	要																				
がん対策推進事業	1 がん診療拠点病院機能強化事業																					
決算額	ア 目的及び事業の実施状況																					
94,122千円	(ア) 目的																					
(財源内訳)	鳥取県の平成25年度のがん死亡者数は、2,024人であり、本県全死亡者の約3割を占めており、昭和57年以来、死因の第1位である。がん診療の中心的役割を担う「地域がん診療連携拠点病院」の機能強化を目的とした補助金を交付し、地域のがん診療連携を促進するとともに、質の高いがん医療の提供体制の確立を図った。																					
国庫支出金	(イ) 事業の実施状況																					
38,280千円																						
一般財源																						
41,491千円																						
その他																						
14,351千円																						
○将来ビジョン																						
V 支え合う																						
(4) 「あんしん医療体制」構築と「健康づくり文化」の創造																						
III 暮らしに安心																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>医療機関名</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> <th>補助率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立中央病院</td> <td>20,200,000</td> <td>20,200,000</td> <td>10/10 (国1/2, 県1/2)</td> </tr> <tr> <td>県立厚生病院</td> <td>8,976,827</td> <td>8,976,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鳥取市立病院</td> <td>17,410,409</td> <td>17,410,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>46,587,236</td> <td>46,586,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	医療機関名	事業費	補助金額	補助率	県立中央病院	20,200,000	20,200,000	10/10 (国1/2, 県1/2)	県立厚生病院	8,976,827	8,976,000		鳥取市立病院	17,410,409	17,410,000		計	46,587,236	46,586,000		
医療機関名	事業費	補助金額	補助率																			
県立中央病院	20,200,000	20,200,000	10/10 (国1/2, 県1/2)																			
県立厚生病院	8,976,827	8,976,000																				
鳥取市立病院	17,410,409	17,410,000																				
計	46,587,236	46,586,000																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>県立中央病院</th> <th>県立厚生病院</th> <th>鳥取市立病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん医療従事者研修事業</td> <td>・緩和ケア研修 27人 ・がん診療研修5回 延べ339人</td> <td>・緩和ケア研修 13人 ・がん診療研修6回 延べ 686人</td> <td>・緩和ケア研修 11人 ・がん診療研修会5回 459人</td> </tr> <tr> <td>院内がん登録促進事業</td> <td>・登録件数 865件</td> <td>・登録件数 540件</td> <td>・登録件数 750件</td> </tr> <tr> <td>がん相談支援事業</td> <td>・相談件数 電話 1,145件 面談 3,110件 ・セカンドオピニオン紹介 40件</td> <td>・相談件数 電話 350件 面談 450件 ・セカンドオピニオン紹介 10件</td> <td>・相談件数 電話 269件 面談等 1,050件 ・セカンドオピニオン紹介 20件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	県立中央病院	県立厚生病院	鳥取市立病院	がん医療従事者研修事業	・緩和ケア研修 27人 ・がん診療研修5回 延べ339人	・緩和ケア研修 13人 ・がん診療研修6回 延べ 686人	・緩和ケア研修 11人 ・がん診療研修会5回 459人	院内がん登録促進事業	・登録件数 865件	・登録件数 540件	・登録件数 750件	がん相談支援事業	・相談件数 電話 1,145件 面談 3,110件 ・セカンドオピニオン紹介 40件	・相談件数 電話 350件 面談 450件 ・セカンドオピニオン紹介 10件	・相談件数 電話 269件 面談等 1,050件 ・セカンドオピニオン紹介 20件					
区分	県立中央病院	県立厚生病院	鳥取市立病院																			
がん医療従事者研修事業	・緩和ケア研修 27人 ・がん診療研修5回 延べ339人	・緩和ケア研修 13人 ・がん診療研修6回 延べ 686人	・緩和ケア研修 11人 ・がん診療研修会5回 459人																			
院内がん登録促進事業	・登録件数 865件	・登録件数 540件	・登録件数 750件																			
がん相談支援事業	・相談件数 電話 1,145件 面談 3,110件 ・セカンドオピニオン紹介 40件	・相談件数 電話 350件 面談 450件 ・セカンドオピニオン紹介 10件	・相談件数 電話 269件 面談等 1,050件 ・セカンドオピニオン紹介 20件																			
	イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 特になし。																					
	ウ 成果 がん医療に従事する医師等の資質向上のための研修をはじめ、がん罹患率や治療における正確なデータを把握するための院内がん登録、がん患者や家族等に対する相談支援やセカンドオピニオン医師の紹介等、がん診療拠点病院としての機能を強化した。																					
	エ 課題 各医療圏のがん診療の拠点として、その他医療機関との連携を図り、緩和ケアを含めたさらなるがん医療の推進を図る必要がある。																					
	2 鳥取県がん対策推進県民会議																					
	ア 目的及び事業の実施状況																					
	(ア) 目的																					
	県民が一丸となり、総合的ながん対策の推進及び充実に取り組む推進母体として鳥取県がん対策推進県民会議を設置し、本県のがんに係る現状、課題及び対策について協議するとともに、がん検診受診啓発を始め、がん対策を推進する県民運動に取り組む。																					
	(イ) 事業の実施状況																					
	日時：平成26年 3月27日 (木)																					
	場所：とりぎん文化会館 (第3会議室)																					
	委員：鳥取県医師会、鳥取大学医学部、がん診療拠点病院、緩和ケア関連医療機関、薬剤師会、看護協会、診療放射線技師会、がん相談支援、患者会、事業者、日本対がん協会鳥取県支部、報道機関、学校教育関係、市町村、県等の代表者 27人																					
	概要：本県のがん対策の現状について情報共有、課題協議を行い、県の施策への提案検討及び次年度がん対策推進アクションプランの検討。																					
	イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・特になし																					

事業名	概要																
	<p>東部＝東部圏域がん対策推進会議 平成26年2月18日開催</p> <p>中部＝胃がん死亡ゼロのまち中部プロジェクト事業で開催 胃がん検診推進連絡会 平成25年5月29日 中部圏域がん対策推進会議 平成26年2月3日開催</p> <p>西部＝西部圏域がん対策推進会議 平成26年2月17日開催</p>																
	<p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマを絞った受診率向上を目指した取り組みを実施した。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉保健局が中心となった圏域ごとの推進体制が定着し、地域の実情に応じた取り組みが図られた。 ・行政だけでなく患者会などの団体と連携した啓発活動が実施できた。 <p>エ 課題</p> <p>がん検診の受診者は増加傾向にあるものの、受診率についても50%の目標に対し、25～30%の実績となっており、一層の啓発や検診を受けやすい体制整備が必要である。</p> <p>4 禁煙治療費助成事業</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>喫煙年数が短く、保険適用要件を満たさない方（主に若年層）に対して、保険適用相当額を助成することで、禁煙に取り組もうとする県民を支援する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>ニコチン依存症管理料届出受理医療機関において、保険適用となる禁煙治療に準じた治療を実施し、禁煙に成功した旨の医師の証明を付して申請を行った場合に、保険適用相当額を助成。</p> <p>申請実績 4件（バレニクリン治療3件、ニコチンパッチ治療1件）</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善に取り組んだ点</p> <p>医療機関など関係機関へのチラシ配布、ローソンでのチラシ配架のほか、会議やイベントなど様々な機会を捉えて、助成事業の広報を行った。</p> <p>ウ 成果</p> <p>本県独自の禁煙治療制度として禁煙につながっている例もある。</p> <p>エ 課題</p> <p>市町村、教育委員会などの協力のもと、制度の広報に努め、申請件数の増加を図る。</p> <p>5 がん患者団体活動促進支援事業</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>がん患者やその家族にとって、同じ体験をした者からのアドバイスや情報交換は精神面で大きな支えとなることから、当事者同士の支え合い活動の促進を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>■がん患者ピアサポート研修会</p> <p>がん患者にとって、がん体験者からのアドバイスや情報交換は、精神面で大きな支えとなることから、がん経験者によるピアサポート活動を支援する研修会を実施する。</p> <table border="1" data-bbox="395 1818 1458 2047"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>東部</th> <th>中部</th> <th>西部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日時、会場</td> <td>平成26年2月1日（土） 県立図書館 大研修室</td> <td>平成26年2月18日（火） エキバル倉吉</td> <td>平成26年3月8日（土） 米子ふれあいの里</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>がん総合支援センター臨 床心理士、相談員</td> <td>がん相談支援副室長、臨 床心理士</td> <td>地域連携センター医療ソ ーシャルワーカー</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>5団体 6人</td> <td>3団体 7人</td> <td>3団体 5人</td> </tr> </tbody> </table> <p>内容：ピアサポート活動の概要等講義、グループワークによる事例検討</p>	区分	東部	中部	西部	日時、会場	平成26年2月1日（土） 県立図書館 大研修室	平成26年2月18日（火） エキバル倉吉	平成26年3月8日（土） 米子ふれあいの里	講師	がん総合支援センター臨 床心理士、相談員	がん相談支援副室長、臨 床心理士	地域連携センター医療ソ ーシャルワーカー	参加者	5団体 6人	3団体 7人	3団体 5人
区分	東部	中部	西部														
日時、会場	平成26年2月1日（土） 県立図書館 大研修室	平成26年2月18日（火） エキバル倉吉	平成26年3月8日（土） 米子ふれあいの里														
講師	がん総合支援センター臨 床心理士、相談員	がん相談支援副室長、臨 床心理士	地域連携センター医療ソ ーシャルワーカー														
参加者	5団体 6人	3団体 7人	3団体 5人														

事業名	概要				
	<p>■がん患者サロン等リーダー情報交換会 がん患者サロン及びがん患者団体の活動の活性化、相互の情報交換及び交流の機会を作る。 日時：平成25年7月2日（月） 会場：ホテルセントパレス倉吉 参加者：6団体 9人</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 特になし</p> <p>ウ 成果 ・がん患者サロン及びがん患者団体が情報や意見を交換し合い、交流を深める場となった。</p> <p>エ 課題 特になし</p> <p>6 緩和ケア研修事業</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 県内の緩和ケア提供体制の充実を図るため、がん診療に携わる医師を対象とした緩和ケア研修を実施した。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <table border="1" data-bbox="395 801 1519 974"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緩和ケア基本教育研修</td> <td> ・厚生労働省の定めた指針に準拠した研修を実施するため研修プログラムの検討及び研修スタッフの選定等を行った。 ※研修会はがん診療連携拠点病院で実施 H25 修了者数： 49人（医師） </td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 特になし</p> <p>ウ 成果 緩和ケア基本教育研修により研修受講者に緩和ケアの考え方、実践手法について理解を深めていただくことができた。</p> <p>エ 課題 研修修了者数は平成21年度の50人から251人に増加したが勤務医に偏っている。緩和ケアが地域医療にも浸透するためには、開業医が受講しやすい研修開催日を設定するなどの工夫が必要である。</p> <p>7 がん専門医療従事者育成支援事業</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 がん診療連携拠点病院が、医師以外のがん専門医療従事者を育成する際に必要となる費用の一部を負担することにより、がん医療の質の向上を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 拠点病院が、がん専門医療従事者を研修に派遣するのに必要な経費（受講料、旅費、宿泊費等）を負担した。</p> <p>(1) 研修者数 16名（看護師3名、薬剤師1名、放射線技師9名、診療情報管理士3名）</p> <p>(2) 研修内容 がん放射線療法看護認定看護師（1名）、 乳がん看護認定看護師（1名）、 IVR学会認定看護師（1名）、 がん専門薬剤師（1名）、 マングラフィ撮影診療放射線技師（5名）、 放射線治療専門放射線技師（3名）、 放射線治療品質管理士（1名）、 診療情報管理士（3名）</p> <p>(3) 研修期間 概ね6ヶ月</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 特になし</p>	区分	実施状況	緩和ケア基本教育研修	・厚生労働省の定めた指針に準拠した研修を実施するため研修プログラムの検討及び研修スタッフの選定等を行った。 ※研修会はがん診療連携拠点病院で実施 H25 修了者数： 49人（医師）
区分	実施状況				
緩和ケア基本教育研修	・厚生労働省の定めた指針に準拠した研修を実施するため研修プログラムの検討及び研修スタッフの選定等を行った。 ※研修会はがん診療連携拠点病院で実施 H25 修了者数： 49人（医師）				

事業名	概要
	<p>ウ 成果 がん診療に従事する専門医療従事者を育成することで、がん医療の質の向上につながった。</p> <p>エ 課題 特になし。</p> <p>8 がん専門医資格取得支援事業</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 県内病院が、医師の資格取得の際に必要な費用の一部を負担することにより、がん医療の質の向上を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 県内病院が、医師が新規資格を取得するのに必要な経費（受験料、旅費）を負担した。</p> <p>(1) 取得者数 5名</p> <p>(2) 取得資格内容 がん治療認定医（1名）、消化器外科専門医（1名）、 消化器内視鏡専門医（1名）、検診マンモグラフィ読影認定医（1名）、 消化器病専門医（1名）</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 特になし</p> <p>ウ 成果 県内のがん医療に係る各種専門医の確保、配置が促進した。</p> <p>エ 課題 特になし。</p> <p>9 院内がん登録拡大支援事業</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 県内全体のがん医療の実態把握を行うため、がん診療連携拠点病院以外のがん診療を行う主な県内の病院へ院内がん登録の拡大を図り、体制整備経費を補助するとともに、併せて、「鳥取県院内がん登録情報センター」を設置し、県全体のがん医療の実態把握及び情報発信を強化する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 院内がん登録を実施する新たな病院 5病院 院内がん登録情報センター 鳥取大学医学部附属病院に委託 従事者研修会 開催 1回</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 評価・分析した院内がん登録の統計データを、ホームページにより情報発信した。</p> <p>ウ 成果 県内全体のがん治療の約9割を実態把握できる体制が整った。</p> <p>エ 課題 院内がん登録の円滑な実施とどの病院においても正確な情報が登録される体制を維持することが必要である。</p>

事業名	概	要				
<p>がん死亡率減少戦略事業</p> <p>決算額 8,486千円</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 4,530千円 一般財源 3,956千円 その他 0千円</p> <p>○将来ビジョン V支え合う (4)「あんしん医療体制」構築と「健康づくり文化」の創造</p> <p>○政策項目 Ⅲ 暮らしに安心</p>	<p>1 肝臓がん予防緊急戦略事業</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 本県は、肝臓がんと関係の深い肝炎ウイルス陽性率が全国平均より高いことから、肝炎ウイルス検査の早期発見のための受診啓発を強化するとともに、働き世代が肝炎ウイルス検査を受診しやすい体制を整備する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>①ストップ肝臓がん啓発事業 「鳥取県肝臓病月間(7月)」を設定し、県民への普及啓発活動を行った。 ・テレビ、ラジオによるスポットCM放送、 ・啓発用ポスター(200部)、チラシ(15,000部)を市町村や医療機関に配布 ・街頭キャンペーン(7月4日実施)</p> <p>②働き世代への無料肝炎ウイルス検査アクセス向上事業 肝臓がん罹患率の高まる世代(40~59歳)で勤務の都合等により市町村が実施する検査を受診することができない者に対し、職場の定期健康診断時に肝炎ウイルス検査が同時に受診できるよう医療機関無料肝炎ウイルス検査への利便性を向上させた。</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 新規事業</p> <p>ウ 成果 肝炎ウイルスや肝疾患に対する啓発を集中的に行った結果、肝炎ウイルス検査(県実施分)の受診者が増加した(24年度:296人(B型149人、C型147人) →25年度:1,914人(B型963人、C型951人))。</p> <p>エ 課題 肝炎ウイルス陽性率が高い本県の特徴に鑑み、引き続き効果的な受診啓発活動が必要。26年度から陽性判定者の初回の精密検査に係る自己負担相当額を助成。</p>					
	<p>2 がん医療対策推進検討事業</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 がん医療の質の向上及びがん死亡率の高い要因等について、より詳細な実態把握と有効ながん対策を探る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 6事業の応募に対して、次の2事業を採択した。</p> <table border="1" data-bbox="446 1243 1492 1388"> <tr> <td data-bbox="446 1243 1197 1332">① 腹部エコー・腫瘍マーカーによる直接的肝がん検診の有 用性についての検討</td> <td data-bbox="1204 1243 1492 1332">村脇 義和 (鳥取大学医学部教授)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="446 1332 1197 1388">② 鳥取県の中小企業従業員と家族のがん検診受診率向上対 策</td> <td data-bbox="1204 1332 1492 1388">尾崎 米厚 (鳥取大学医学部教授)</td> </tr> </table> <p>※ 事業採択に当たっては外部委員等による審査会を開催して決定。 【審査会の概要】開催日:平成25年8月27日 審査員:祖父江友孝(大阪大学医学部教授)ほか2名</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 新規事業</p> <p>ウ 成果 (26年度も継続研究中。)</p> <p>エ 課題 特になし</p>	① 腹部エコー・腫瘍マーカーによる直接的肝がん検診の有 用性についての検討	村脇 義和 (鳥取大学医学部教授)	② 鳥取県の中小企業従業員と家族のがん検診受診率向上対 策	尾崎 米厚 (鳥取大学医学部教授)	
① 腹部エコー・腫瘍マーカーによる直接的肝がん検診の有 用性についての検討	村脇 義和 (鳥取大学医学部教授)					
② 鳥取県の中小企業従業員と家族のがん検診受診率向上対 策	尾崎 米厚 (鳥取大学医学部教授)					
	<p>3 子どもの頃からのがん予防教育</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 子どもへのがん予防教育を推進させるため、関係機関等の委員からなる部会を設置し、子どもに伝えるべきがんの知識について検討する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 日時:第1回 平成25年 7月30日(火) 第2回 平成25年10月30日(水) 第3回 平成25年12月 3日(火) 委員:県医師会、県中学校長会、県高等学校長会など9名 ※ 第1回部会には、中川恵一氏(東京大学医学部附属病院放射線科准教授)を特別アドバイザーとして招聘。</p>					

事業名	概	要
	<p>概要：児童・生徒を対象としたがん予防教室の教材の検討・決定したほか、がん教育講師育成研修会の開催などを行った。</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 新規事業</p> <p>ウ 成果 児童・生徒向けのがん予防教室の教材が完成し、学校におけるがん予防教育の素地ができあがるとともに、関係者の協力体制が構築された。</p> <p>エ 課題 特になし</p>	
	<p>4 小児がん対策推進事業</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 がんになった子供や、子供のいるがん患者・家族に対する心理社会的支援の充実を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 医療従事者等を対象に研修会を開催。 日 時：平成25年12月14日 場 所：とりぎん文化会館（鳥取市） 内 容：村瀬有紀子氏（東京医科歯科大学附属病院チャイルドライフスペシャリスト）による小児がん患者への支援などの講演 対象者：医師、看護師、がん相談員等 受講者17名</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 新規事業</p> <p>ウ 成果 親ががんになった時の子供の心のケアなどを中心に、がん患者本人のみならず、家族の支援の必要性について、がん医療に関わる医療従事者に認識してもらうことができた。</p> <p>エ 課題 特になし</p>	
	<p>5 企業連携就労支援推進事業</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 がん患者が安心して働ける職場環境づくりを行う事業所を広めるため、がんに対する正しい知識やがん患者への職場上の配慮等に関する啓発を行うとともに、がん患者が就労に関する相談を受けやすい体制を整備する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>①職域への普及啓発 平成25年11月に、冊子「身近な人ががんになったとき」（国立がん研究センター発行）を、「がん検診推進パートナー企業」（340社）の従業員分（約18千部余）を配布した。</p> <p>②「ワンストップサポート」体制の構築 平成25年10月に、中小企業労働相談所「みなくる」の労働相談員をがん診療連携拠点病院にある相談支援センター・支援室に派遣し、がん患者が労働相談も併せて行うことができる体制を整備した。</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 新規事業</p> <p>ウ 成果 事業者や同僚従業員に啓発を行い、がん患者が安心して働けるようがんに関する基礎知識が深まるとともに、がん患者が就労に関する相談を受けやすい体制整備につながった。</p> <p>エ 課題 特になし</p>	

7 決算調書
(総括表)

(単位:円)

区分	科目(目)	予算				算現額			決算額 B	決算額の内訳		翌年度繰越額 C	差引残額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計 A	本庁	出納機関						
	公衆衛生総務費	10,857,000	0	0	0	10,857,000	6,432,432	278,418	0	4,146,150				
	結核対策費	32,421,000	0	0	3,956,000	36,377,000	20,630,540	9,996,077	0	5,750,383				
	予防費	232,780,000	135,200,000	0	△ 3,956,000	364,024,000	204,308,864	8,872,351	7,128,000	143,714,785				
	精神衛生費	9,276,000	0	0	0	9,276,000	0	7,142,397	0	2,133,603				
	特定疾患対策費	662,070,000	0	0	0	662,070,000	631,623,857	16,270,767	0	14,175,376				
	健康県づくり推進費	108,055,000	7,363,000	0	0	115,418,000	75,696,259	18,731,592	1,170,000	19,820,149				
	生活習慣病予防対策費	469,306,000	△ 57,017,000	0	0	412,289,000	315,162,183	152,742,558	0	81,852,559				
	合計	1,524,765,000	85,546,000	0	0	1,610,311,000	1,253,854,135	76,565,860	8,298,000	271,593,005				
	行政財産使用料	29,000	0	0	0	29,000	0	0	0	29,000				
	衛生手数料	466,000	0	0	0	466,000	0	0	0	△ 206,800				
	衛生費国庫負担金	22,799,000	0	0	0	22,799,000	21,041,200	0	0	1,757,800				
	衛生費国庫補助金	543,806,000	△ 175,633,000	0	0	368,173,000	429,631,486	0	3,564,000	△ 65,022,486				
	衛生費委託金	1,376,000	0	0	0	1,376,000	639,210	0	0	736,790				
	財産貸付収入	13,984,000	0	0	0	13,984,000	13,985,258	0	0	△ 1,258				
	利子及び配当金	885,000	0	0	0	885,000	873,526	0	0	11,474				
	自殺対策緊急強化基金繰入金	60,294,000	△ 12,637,000	0	0	47,657,000	35,956,336	0	0	11,700,664				
	地域医療再生基金繰入金	15,701,000	8,266,000	0	0	23,967,000	21,263,000	0	0	2,704,000				
	子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時基金繰入金	0	113,974,000	0	0	113,974,000	113,973,435	0	0	565				
	雑入	933,000	0	0	0	933,000	42,061,167	0	0	△ 41,128,167				
	衛生債	12,000,000	0	0	0	12,000,000	12,000,000	0	0	0				
	小計	672,273,000	△ 66,030,000	0	0	606,243,000	692,097,418	0	0	△ 89,418,418				
	一般県費充当	852,492,000	151,576,000	0	0	1,004,068,000	638,322,577	0	0	361,011,423				
	合計	1,524,765,000	85,546,000	0	0	1,610,311,000	1,253,854,135	76,565,860	8,298,000	271,593,005				

8 事業別実施状況調べ

(単位:円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(公衆衛生総務費)					
鳥取県公衆衛生学会等運営費	1,451,000	876,132	0	574,868	開催年月日：平成25年7月11日(木) 場所：倉吉交流プラザ 参加者数：約130名 ＜特別講演＞ 「これからの、公衆衛生活動のあり方について」 鳥取大学医学部社会社会医学講座環境 予防医学分野 教授 尾崎 米厚 ＜研究発表＞ 保健分野 30件 環境分野 11件
被ばく医療体制整備事業	7,633,000	4,929,508	0	2,703,492	スクリーニング用のGMサーベーター(50台)及び個人線量計(200台)の校正業務を委託した。また、スクリーニング会場で使用する物品を購入した。
栄養改善指導事業	1,773,000	905,210	0	867,790	1 県民が健康づくりに取り組みやすい環境をつくるため、指導者の育成や給食施設、食品事業者に対する指導を行った。 ①栄養士研修会を開催(参加者130人) ③健康増進法に基づき、特定給食施設の栄養管理や一般に販売される食品の表示についての指導を実施。 2 健康増進法に基づき、地域住民の身体状況、栄養摂取及び生活習慣に関する調査を実施。(25年11月、県内1地区) 3 栄養士法に基づき、栄養士免許証の交付、管理栄養士免許申請事務を実施。
公衆衛生総務費合計	10,857,000	6,707,130	0	4,149,870	

8 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果																																
(結核対策費) 結核予防対策事業	36,377,000	30,626,617	0	5,750,383	結核患者に対する適正な医療の普及を行うとともに、結核患者の医療費を負担した。																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>計画</th> <th>実績</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">命令入院患者 (法第37条)</td> <td>件数</td> <td>140件</td> <td>115件</td> <td rowspan="2">補助率3/4(国) 1/4(県)</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>15,535,000円</td> <td>15,964,642円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">一般患者 (法第37条の2)</td> <td>件数</td> <td>1,160件</td> <td>941件</td> <td rowspan="2">補助率1/2(国) 1/2(県)</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>1,865,000円</td> <td>1,439,554円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>1,312件</td> <td>1,056件</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>金額</td> <td>12,463,000円</td> <td>17,404,196円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						区分		計画	実績	備考	命令入院患者 (法第37条)	件数	140件	115件	補助率3/4(国) 1/4(県)	金額	15,535,000円	15,964,642円	一般患者 (法第37条の2)	件数	1,160件	941件	補助率1/2(国) 1/2(県)	金額	1,865,000円	1,439,554円	合計		1,312件	1,056件				金額	12,463,000円	17,404,196円	
区分		計画	実績	備考																																	
命令入院患者 (法第37条)	件数	140件	115件	補助率3/4(国) 1/4(県)																																	
	金額	15,535,000円	15,964,642円																																		
一般患者 (法第37条の2)	件数	1,160件	941件	補助率1/2(国) 1/2(県)																																	
	金額	1,865,000円	1,439,554円																																		
合計		1,312件	1,056件																																		
		金額	12,463,000円	17,404,196円																																	
<p>1 結核対策特別推進事業を実施し、結核予防対策の促進を図った。</p> <p>2 結核予防週間(9月24日～30日)の行事として、結核予防事業の功労のあった者を知事表彰した。</p> <p>3 結核定期健康診断の実施の促進により、結核罹患者を早期に発見し、必要な措置を講じるため、健康診断等を実施する私立学校・社会福祉法人が経営する老人福祉施設等に対し助成した。 結核予防費補助金 (社)東部医師会他 55件 : 1,412,443円</p>																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">対象者数 (人)</th> <th rowspan="2">受診者数 (人)</th> <th rowspan="2">受診率 (%)</th> <th colspan="3">検診内容</th> <th rowspan="2">精密検査</th> </tr> <tr> <th>レントゲン</th> <th>間接70</th> <th>間接100</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">私立学校・施設実施分</td> <td>計画</td> <td>4,911</td> <td>4,390</td> <td>89.4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4,390</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>4,911</td> <td>4,275</td> <td>87.0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4,275</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>						区分		対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	検診内容			精密検査	レントゲン	間接70	間接100	私立学校・施設実施分	計画	4,911	4,390	89.4	0	0	4,390	0	実績	4,911	4,275	87.0	0	0	4,275	1			
区分		対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	検診内容						精密検査																										
					レントゲン	間接70	間接100																														
私立学校・施設実施分	計画	4,911	4,390	89.4	0	0	4,390	0																													
	実績	4,911	4,275	87.0	0	0	4,275	1																													
結核対策費合計	36,377,000	30,626,617	0	5,750,383																																	

8 事業別実施状況調べ

(単位:円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(予防費)					
新型インフルエンザ対策事業	36,517,000	28,709,027	0	7,807,973	<p>新型インフルエンザ等対策特別措置法の施行に伴い、県の行動計画を作成した。併せて、外来・入院協力医療機関の指定、指定地方公共団体の指定等を行い、民間機関との協力体制の構築を進めた。</p> <p>新型インフルエンザウイルス薬の備蓄の増強と感染防護具の更新を行った。</p> <p>新型インフルエンザの発生時に迅速な初動対応ができるよう、県庁内の対策本部初動対応訓練を実施するとともに、圏域ごと(中部・西部)に、医療従事者や市町村の担当者を対象とした研修を実施した。</p>
新型インフルエンザ入院病床確保事業	96,484,000	0	0	96,484,000	<p>新型インフルエンザが発生した際に、重症化患者の入院病床の確保を医療機関に要請することとなっているが、空床が生じた場合に、医療機関に対して空床補償として交付する交付金である。新型インフルエンザの発生がなかったため、執行していない。</p>
感染症対策推進事業	45,914,000	32,189,015	0	13,724,985	<p>感染症発生時における危機管理体制を平常時から整備するとともに、感染症患者に対する適切な医療を提供した。</p> <p>①感染症危機管理整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 各総合事務所福祉保健局等で施設等に対して研修会を開催し、予防・拡大防止対策等を指導した。 山口県で開催された中国地区感染症対策連絡協議会に出席し、感染症対策の近県との連携を図った。 <p>②感染症予防事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症発生時、迅速対応により感染拡大防止を図った。 感染症指定医療機関運営への助成を行った。 <p>③感染症予防対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症発生動向調査により1～5類感染症の患者発生状況を把握し、感染症危機管理対策協議会の部会で解析、県民に情報提供を行った。 感染症の発生時や感染症集団発生時には情報提供すると同時に予防啓発を行った。 感染症流行予測調査による日本脳炎の流行状況把握を行った。 県政だより等により、麻しん排除に向け普及啓発活動を展開した。 <p>④動物由来感染症予防体制整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修へ職員4名を派遣した。

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果			
(予防費) 予防接種事故対策事業	11,117,004	10,215,796	0	901,208	予防接種による健康被害者を救済する市町村に対し、補助金を交付した。			
(単位：円)								
区分	医療費 A	医療手当 B	障害年金 C	補助対象額 (A+B+C)=D	補助額 (D×3/4)=E	事故調査委員会 補助対象額 F	補助額 (F×3/4)=G	補助額計 (E+G)=H
鳥取市	42,350	673,100	7,370,260	8,085,710	6,064,282	23,240	17,000	6,081,282
八頭町	0	0	4,459,060	4,459,060	3,344,295	0	0	3,334,295
米子市	55,620	442,800	0	498,420	373,815	0	0	373,815
合計	97,970	1,115,900	11,829,320	13,043,190	9,782,392	23,240	17,000	9,799,392
エイズ予防対策事業	11,759,000	7,656,365	0	4,102,635				
熱中症対策事業	1,421,000	1,389,429	0	31,571				

エイズの蔓延防止と早期発見・治療を行うとともに、感染者・患者に対する偏見・差別の解消を図るための事業を行った。

- ① 正しい知識の普及啓発活動
 - ・ HIV検査普及週間(6月)
 - ・ 性感染症予防キャンペーン(7～9月)
 - ・ 新聞等による広報の実施
 - ・ 学校と連携した健康教育の実施
 - ・ 時間外検査の実施(夜間・休日等)
 - ・ 世界エイズデー関連事業(12月)
- ② 相談・指導体制の充実
 - 研修へ職員を派遣し、エイズ相談指導体制の充実を図った。
 - (保健所保健師等研修派遣2名)
- ③ 医療体制の充実
 - 拠点病院職員を研修等に派遣、資質向上を図った。
 - (拠点病院医師等研修派遣6名)
- ④ 検査体制の充実
 - イベントにあわせて迅速・時間外検査の導入等、総合事務所福祉保健局等における検査体制の充実を図った。
 - 検査件数 エイズ：726件
 - 梅毒：520件
 - クラミジア：514件

ヒートアイランド現象や地球温暖化等の環境の変化により、熱ストレスの増大が指摘されており、日常生活における熱中症発症のリスクが高まっている。このため、熱中症対策が重要な課題となっており、県民及び関係者に対して、積極的な啓発等が必要であることから、以下のとおり熱中症に対する取組を事業化して実施した。

1. 熱中症の予防啓発
 - (1) 鳥取県熱中症警戒週間の発令
 - (2) 鳥取県熱中症警報の発令
 - (3) 鳥取県熱中症注意月間の設置
 - (4) 各種啓発物の作成・配布
2. 関係者の資質向上
 - (1) 熱中症予防講演会
 - (2) 鳥取県熱中症対策連絡会議

事業名	予算額	支出済額	翌年度 繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果						
(予防費) ハンセン病事業費	4,368,000	2,244,331	0	2,123,669	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 ハンセン病に対する差別・偏見を解消するための普及啓発を進めるとともに、訪問事業等を通じて療養所入所者との絆を深めた。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <table border="1"> <tr> <td>訪問事業</td> <td>全国2療養所を訪問し、意見要望等の聞き取りを行った。また、郷土の特産品(二十世紀梨)、地方情報誌(とっとりNOW)等を全国5療養所に送付した。</td> </tr> <tr> <td>パネル展示</td> <td>ハンセン病に対する偏見・差別を解消し、正しい知識を持っていただくため、県内各所(総合事務所ギャラリー等(計4箇所))でパネル展示を実施した。</td> </tr> <tr> <td>ハンセン病学習会</td> <td>県内の小中高等学校の生徒を対象に入所者等を講師とする学習会を開催し、ハンセン病に対する知識等を深めた。(県立学校18校で実施)</td> </tr> </table>	訪問事業	全国2療養所を訪問し、意見要望等の聞き取りを行った。また、郷土の特産品(二十世紀梨)、地方情報誌(とっとりNOW)等を全国5療養所に送付した。	パネル展示	ハンセン病に対する偏見・差別を解消し、正しい知識を持っていただくため、県内各所(総合事務所ギャラリー等(計4箇所))でパネル展示を実施した。	ハンセン病学習会	県内の小中高等学校の生徒を対象に入所者等を講師とする学習会を開催し、ハンセン病に対する知識等を深めた。(県立学校18校で実施)
訪問事業	全国2療養所を訪問し、意見要望等の聞き取りを行った。また、郷土の特産品(二十世紀梨)、地方情報誌(とっとりNOW)等を全国5療養所に送付した。										
パネル展示	ハンセン病に対する偏見・差別を解消し、正しい知識を持っていただくため、県内各所(総合事務所ギャラリー等(計4箇所))でパネル展示を実施した。										
ハンセン病学習会	県内の小中高等学校の生徒を対象に入所者等を講師とする学習会を開催し、ハンセン病に対する知識等を深めた。(県立学校18校で実施)										
					<p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 特になし</p> <p>ウ 成果 小学校を中心に開催した学習会において、児童からも活発に意見・感想が出され、理解が深まった。 懸案であった長島愛生園及び邑久光明園への知事訪問が実現した。</p> <p>エ 課題 全国5療養所に入所されている方々が高齢化している状況であることから、高齢化にきめ細やかに対応して事業を実施していく必要がある。 また、学習会に対応していただける元ハンセン病回復者の方も高齢化しているため、今後、学習会を継続するために新たな講師の確保が必要である。</p>						
子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時基金造成事業	114,670,996	114,670,252	0	744	<p>国の平成22年度事業により県へ交付された「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金」を元に「鳥取県ワクチン接種緊急促進基金」を創設したが、当該基金事業については、平成24年度で終了したため、その残余金を国に返還した。</p>						
① 鳥取県風しんワクチン接種費緊急助成事業	25,000,000	9,166,000	0	15,834,000	<p>風しんウイルスが妊婦に感染すると生まれてくる子供に先天性風しん症候群の発症が懸念されることから、妊婦とその子供を風しんから守るため、風しんワクチンを接種する場合に、接種費用の一部を助成した。</p>						

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果	
(予防費) 結核病床整備事業	5,145,000	4,751,000	0	394,000	結核患者発生時の円滑な患者受入を図るため、鳥取大学医学部附属病院が行う結核病床の個室化のための整備に対して、「鳥取県地域医療再生基金」を活用して費用の一部を補助した。 <施設整備> 補助率：県1/2(残は事業者負担) 補助対象：結核病床の建設のために必要な工事費等	
単位：円、()内は補助対象経費						
			予算	交付決定	実績	備考
結核病床整備事業 (鳥取大学医学部附属病院)	施設		(10,290,000) 5,145,000	(9,502,500) 4,751,000	(9,502,500) 4,751,000	補助率1/2
合計			(10,290,000) 5,145,000	(9,502,500) 4,751,000	(9,502,500) 4,751,000	
感染症医療提供体制強化事業	4,500,000	2,190,000	0	2,310,000	地域の感染症専門医養成のための体制整備を図るため、鳥取大学医学部附属病院が行う感染症医療提供体制強化事業に係る人件費に対して、「鳥取県地域医療再生基金」を活用して費用の一部を補助した。 (平成27年度まで3年間の債務負担行為) <施設整備> 補助率：国10/10 補助対象：感染症専門医養成のために必要な人件費等	
単位：円、()内は補助対象経費						
			予算	交付決定	実績	備考
感染症医療提供体制強化事業 (鳥取大学医学部附属病院)	人件費		(4,500,000) 4,500,000	(2,190,000) 2,190,000	(2,190,000) 2,190,000	補助率10/10
合計			(4,500,000) 4,500,000	(9,502,500) 4,751,000	(2,190,000) 2,190,000	
風しん対策特別促進事業	7,128,000	0	7,128,000	0	風しんの流行を食い止め、生まれてくる子どもを先天性風しん症候群(CRS)から守るための対策として、妊娠を希望する女性に対する医療機関での無料風しん抗体価検査を行う。 なお、国の経済対策に伴って、平成25年度2月補正予算に前倒しして計上したため、全額を平成26年度に繰越して執行する。	
予防費合計	364,024,000	213,181,215	7,128,000	143,714,785		

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果																				
(精神衛生費) 精神保健福祉 センター運営 費	9,276,000	7,142,397	0	2,133,603	相談・指導事業 県民の心の健康の保持増進と精神障害者の社会復帰、社会参加促進の援助のために、技術的指導・援助、教育研修、広報普及、調査研究、精神保健福祉相談及び協力組織の強化育成事業を実施した。																				
精神保健福祉 相談の受付状況 (単位：件)																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度内新規件数</th> <th>繰越件数</th> <th>述件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>所内相談</td> <td>340</td> <td>255</td> <td>3,668</td> </tr> <tr> <td>所外相談</td> <td>48</td> <td>35</td> <td>131</td> </tr> <tr> <td>電話相談</td> <td>306</td> <td>44</td> <td>2,270</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>694</td> <td>334</td> <td>6,069</td> </tr> </tbody> </table>				区分	年度内新規件数	繰越件数	述件数	所内相談	340	255	3,668	所外相談	48	35	131	電話相談	306	44	2,270	計	694	334	6,069
区分	年度内新規件数	繰越件数	述件数																						
所内相談	340	255	3,668																						
所外相談	48	35	131																						
電話相談	306	44	2,270																						
計	694	334	6,069																						
精神衛生費 合計	9,276,000	7,142,397	0	2,133,603																					

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(特定疾患対策費) 鳥取県難病相談・支援センター整備事業	6,169,000	5,801,217	0	367,783	難病相談・支援センターを設置し、難病患者や家族の相談に応じたり、研修会の開催、患者会の支援を行った。 ○相談391件 ○医療相談会・交流会参加6回
特定疾患対策費	646,707,000	634,272,551	0	12,434,449	特定疾患56疾患及び先天性血液凝固因子障害の患者について医療費の自己負担分の一部または全部を公費負担した。
区 分			対象者(人)	支払延件数(件)	公費負担額(円)
特定疾患治療研究事業			4,227	100	608,995,329
先天性血液凝固因子障害等治療研究事業			20	12	4,526,673
在宅人工呼吸器使用特定疾患患者訪問看護治療研究費			5	36	5,304,300
合 計			4,252	148	618,826,302
重症難病患者入院施設確保事業	6,047,000	5,931,348	0	115,652	重症難病患者の入院施設確保及び療養支援体制整備のため鳥取県難病医療連絡協議会を設置し、医療ネットワークの基盤整備を行ったほか、患者等からの相談対応、患者家族会の支援、研修会の開催等を行った。 ○相談件数(延べ)200件 ○研修会の開催実績開催回数：2回
難病患者支援事業	901,000	302,558	0	598,442	
難病患者地域支援対策推進事業					
①訪問相談事業			在宅の難病患者や家族の精神的負担を軽減するため、保健所の保健師等が訪問相談を行った。 実施回数 68回		
②医療相談事業			二次保健医療圏ごとに相談班を設置し、難病患者及びその家族の医療相談を行った。 実施回数 10回		
③難病患者等ホームヘルパー養成研修会			在宅難病患者の需要に対応できるホームヘルパーを養成するための研修会を行う。 実施回数 1回		
在宅重症難病患者一時入院事業	2,786,000	1,437,590	0	1,348,410	重症難病患者の家族等介護者の休息(レスパイト)等目的での入院について、入院先の調整を行った。 ○入院延人数 12人 ○入院延日数 85日
特定疾患対策費 合 計	662,070,000	647,894,624	0	14,175,376	

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(健康県づくり推進費)					
① ココカラげんき鳥取県推進事業	11,982,000	9,009,742	0	2,972,258	主要事業 〈ココカラげんき鳥取県推進事業〉
② ウォーキング立県とっとり事業	6,361,000	5,900,754	0	460,246	主要事業 〈ウォーキング立県とっとり事業〉
③ 食育地域ネットワーク強化事業	5,519,000	1,598,866	0	3,920,134	主要事業 〈食育ネットワーク強化事業〉
鳥取県「食の応援団」支援事業	5,043,000	5,043,000	0	0	県民の健康の保持・増進を図るため、地域で行われる栄養・食生活改善の取組に対して補助した。 ○鳥取県食生活改善推進員連絡協議会 食習慣改善講習会 119回 2,408人 教育研修事業 99回 2,373人 ○社団法人鳥取県栄養士会 生活習慣病予防のための栄養教室 39回 3,421人 個別栄養指導 37回 1,282人 子どものための食育教室 65回 4,385人 加工食品の栄養成分表示の推進 1件
みんなで支えあう地域づくり事業(自殺対策事業)	49,581,000	40,785,465	0	8,795,535	〈鳥取県自殺対策緊急強化基金事業〉 県民一人ひとりが心の健康に関する正しい知識を理解し、自殺を未然に防止するとともに、自死遺族支援に取り組むため関係機関と連携し、総合的かつ効果的な自殺対策を推進した。 【研修会等実績】 ・心の健康と暮らしの法律相談会：13回(延べ相談人数 27名) ・「眠れてますか？睡眠キャンペーン」等自殺予防に係る研修会 参加621人 ・自殺対策人形劇派遣事業 6回 ・かかりつけ医と精神科医との連携会議 2回 ・精神医療関係者等研修 受講130人 ・うつ病対応力向上研修 修了者45名 ・自死遺族の集い 延べ参加者28名 ・ゲートキーパー養成研修 受講者771人 ・自殺対策研修会 受講者84人 【市町村自殺対策緊急強化交付金実績】 ・県内19市町村中17市町村が事業実施。地域の実情に応じた自死対策事業の展開を推進した。
鳥取県自殺対策緊急強化基金造成事業	20,000,000	20,000,000	0	0	国の経済対策による平成25年度補正予算で措置された地域自殺対策緊急強化交付金を基金へ積み増した。 〈基金の設置目的〉 現下の厳しい経済情勢を踏まえ、追い込まれた人に対するセーフティネットとして、地域の実情を踏まえて実施する自殺予防の取組等に支援を行い、地域における自殺対策の充実を図る。

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
自殺対策緊急強化基金返還金	2,300,000	2,300,000	0	0	
食物アレルギー対策推進事業	1,220,000	0	1,170,000	50,000	<p>専門機関設置までの効果的なアレルギー対策を検討するため、(社)鳥取県医師会に委託し、大学病院、アレルギー専門医、学校関係者等で構成する食物アレルギー対策検討会を開催した。また、医療関係者、学校関係者を対象に研修会を実施した。</p> <p><会議> 【開催回数】2回 【内容】 ・学校等での食物アレルギーの調査手法の検討 ・食物アレルギー管理マニュアルの策定 ・県民向け普及啓発パンフレットの策定</p>
とっとりひきこもり生活支援センター事業	7,447,000	6,850,788	0	596,212	<p>東部福祉保健事務所・総合事務所において、相談家族教室を行うとともに、とっとりひきこもり生活支援センターを平成21年度より設置し、ひきこもり者への支援強化を図っている。</p> <p>1 とっとりひきこもり生活支援センターの設置 NPO法人鳥取青少年ピアサポートへ相談支援、就労体験事業等を委託。 相談件数：実98人 延べ1,394件 就労体験者数：14人</p> <p>2 ひきこもり支援機関連絡会 精神保健福祉センター、東部福祉保健事務所、各総合事務所福祉保健局、とっとりひきこもり生活支援センター、とっとり若者サポートステーション等関係機関で連絡会を開催。(月1回)</p> <p>3 相談・家族教室 精神保健福祉センターと各総合事務所福祉保健局において相談支援等を実施。</p>
糖尿病予防対策連携強化事業	2,533,000	1,353,921	0	1,179,079	<p>県民が安心してかかりつけ医療機関で糖尿病の初期治療が受けられる体制を構築するため、鳥取県・糖尿病医療連携登録医制度・要領を策定し、平成24年度から運用を開始。 平成25年度も継続して運用し、登録医の増加に努めた。 平成25年度末の登録医数：150人</p>

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
慢性腎臓病予防 対策事業	839,000	105,360	0	733,640	「慢性腎臓病 (CKD) 予防対策研修 会」 慢性腎臓病予防について知識を深め、効果 的な保健指導の取り組み方について学び、 保健指導の従事者の人材育成を目的とした 研修 【開催回数】 1 回 【対象】 保健師、管理栄養士、医師、看護 師、健診関係者等等 【参加人数】 74 人 【内容】 ・報告「人工透析患者に対する医療費分析」 ・講演「慢性腎臓病に対する戦略～早期発 見のために～」 講演「特定健診事業からの慢性腎臓病予防」
福祉保健部 (健康政策課) 管理運営費	2,593,000	1,479,955	0	1,113,045	福祉保健部（健康政策課）の管理・運営に 要する経費。
健康県づくり 推進費 合計	115,418,000	94,427,851	1,170,000	19,820,149	

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	引残額	事業の計画と実績・成果															
(生活習慣病予防対策費)																				
① がん対策推進事業	112,392,000	94,121,829	0	18,270,171	主要事業 〈がん対策推進事業〉															
② がん死亡率減少戦略事業	34,039,000	8,485,400	0	25,553,600	主要事業 〈がん死亡率減少戦略事業〉															
(8020)運動推進事業	2,240,000	1,558,851	0	681,149																
区 分			実績・成果																	
歯と口の健康週間相談事業（委託）			3地区において、歯科保健知識の普及と歯科疾患に対する相談を目的として実施。 参加者：計 1,219名																	
口腔衛生関係者研修会			母子歯科保健指導者等の資質向上のための研修会を開催。 鳥取県の取組紹介 健康政策課 テーマ「歯科発ヘルシーライフプロモーションと抗加齢」 講師：武内 博朗（鶴見大学歯学部臨床教授） 参加者：計 123名																	
むし歯予防フッ化物洗口事業	4,202,000	3,192,673	0	1,009,327																
区 分			実績・成果																	
むし歯予防フッ化物洗口事業 （委託先：一般社団法人鳥取県歯科医師会） 子どものむし歯を予防するためフッ化物洗口を全県的に普及し、実施できる体制を整備する。			市町村を通じて保育所・幼稚園及び小中学校、特別支援学校を対象に参加募集し、フッ化物洗口事業を実施した。 （未実施の施設が対象） 【モデル園の状況】																	
			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>参加施設数</th> <th>実施人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東 部</td> <td>13</td> <td>532人</td> </tr> <tr> <td>中 部</td> <td>1</td> <td>43人</td> </tr> <tr> <td>西 部</td> <td>4</td> <td>257人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>18</td> <td>832人</td> </tr> </tbody> </table>				参加施設数	実施人数	東 部	13	532人	中 部	1	43人	西 部	4	257人	合 計	18	832人
	参加施設数	実施人数																		
東 部	13	532人																		
中 部	1	43人																		
西 部	4	257人																		
合 計	18	832人																		

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	引残額	事業の計画と実績・成果
健口食育プロジェクト事業	2,433,000	2,011,346	0	421,651	生涯自分の歯でおいしく食べることができるよう、ライフステージに応じた口腔機能に関する知識の普及と人材を育成する目的で実施した。
健口キッズコース					
口腔機能巡回指導		東部福祉保健事務 4保育所 延べ12回 (歯科衛生士、言語聴覚士)		中部福祉保健局 2保育所 延べ8回 (歯科衛生士、言語聴覚士)	西部福祉保健局 4保育所 延べ12回 (歯科衛生士、言語聴覚士)
人材育成研修会		日時：7月25日(木) 講師：中尾歯科医師 (子どもの口腔機能の発達) 対象：保育士、調理師、歯科衛生士、市町村職員等 参加数：27人		日時：1月30日(木) 講師：森本歯科医師 (口腔機能と遊び) 対象：保育士、調理師、歯科衛生士、市町村職員等 参加数：38人	日時：6月27日(木) 講師：高野歯科医師 (子どもの食べる機能の発達) 対象：保育士、調理師、歯科衛生士、市町村職員等 参加数：24人
委託先	一般社団法人鳥取県歯科医師会				
委託事業名	健口食育プロジェクト事業 子どもの口腔機能向上のための歯科医師対応力向上研修				
内容	<p>(1) 子どもの口腔機能の発達等の相談窓口を整備するため、歯科医師へ研修を行い、県が協力医として認定する。</p> <p>日時：1月26日(日)10時～15時 場所：県歯科医師会館(鳥取市吉方温泉3丁目) 講師：井上 美津子教授(昭和大学歯学部) 受講者数：35名(新に歯科医師17名を協力医として認定) 協力医数：82名(H23:43、H24:22、H25:17)</p> <p>(2) 口腔機能に関する健康教育の実施 実施施設数：8園、9回 参加者：310人(保育所保護者)</p>				

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	引残額	事業の計画と実績・成果									
歯周病と糖尿病を予防する！医科歯科連携推進事業	1,117,000	865,835	0	251,165										
区 分			実績・成果											
歯周病と糖尿病を予防する！医科歯科連携推進事業 (委託先：一般社団法人鳥取県歯科医師会) 関連の深い歯周病と糖尿病の慢性疾患予防と重症化予防のため、医科歯科連携体制を構築する。			関連の深い歯周病と糖尿病の慢性疾患予と重症化予防のため、医科歯科連携体制を構築し、関係者と県民へ知識を普及する。協力認定数：163名 <研修会の開催>											
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>東部</th> <th>中部</th> <th>西部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2月9日(日)</td> <td>3月28日(金)</td> <td>12月1日(日)</td> </tr> <tr> <td>協力医認定数 61名</td> <td>協力医認定数 43名</td> <td>協力医認定数 59名</td> </tr> </tbody> </table>			東部	中部	西部	2月9日(日)	3月28日(金)	12月1日(日)	協力医認定数 61名	協力医認定数 43名	協力医認定数 59名
東部	中部	西部												
2月9日(日)	3月28日(金)	12月1日(日)												
協力医認定数 61名	協力医認定数 43名	協力医認定数 59名												

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果			
肝臓がん(肝炎)対策事業費	1,756,000	1,532,237		223,763	<p>肝臓がん死亡の抑制を目的として、がんの原因であるB型・C型肝炎ウイルスの早期発見及び治療体制整備のため、次の事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肝炎対策協議会 ・肝炎医療従事者研修会の実施 ・肝臓がん検診従事者講習会の実施 ・肝炎ウイルス保健所検診の実施 			
協議会名		回数	開催日					
肝炎対策協議会		年2回	H25.8.17					
			H26.2.20					
研修会名			開催日	人数				
肝炎医療従事者研修会			H26.2.2	22名				
肝臓がん検診従事者講習会	肝臓がん検診従事者講習会		H26.2.20	108名				
	肝臓がん検診症例検討会							
肝炎ウイルス保健所検査			検査件数					
HBs抗原検査			281件					
HCV抗体検査			274件					
HCV核酸増幅検査			2件					
肝炎治療特別促進事業	121,468,000	90,208,514	0	31,259,486	<p>B型肝炎、C型肝炎の早期治療を促進し、肝硬変や肝がんへの進行を未然に防ぐ観点から、B型及びC型肝炎ウイルスの除去を目的として行う、保険適用となるインターフェロン治療費一部を助成する事業を平成20年度より実施。</p>			
平成25年度	認定者数(名)		内訳					
			B型肝炎			C型肝炎	C型代償性肝硬変	
	新規	更新	新規	更新		新規	新規	
	4月	19	52	8		52	11	-
	5月	21	43	14		43	7	-
	6月	17	40	9		40	7	1
	7月	11	32	9		32	2	-
	8月	10	30	5		30	4	1
	9月	19	19	18		19	1	-
	10月	22	36	19		36	3	-
	11月	11	22	8		22	3	-
	12月	10	17	6		17	3	1
	1月	14	55	12		55	2	-
	2月	41	102	12		102	29	-
3月	54	149	8	149	46	-		
計	249	597	128	597	118	3		

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
生活習慣病検診等精度管理委託事業	19,797,000	19,252,007	0	544,993	<p>1 健康増進法に基づき市町村が実施するがん検診等をより効果的に実施するため管理指導機関として次の部会からなる「鳥取県生活習慣病健診等管理指導協議会」を設け、鳥取県健康対策協議会に運営を委託して、健康診査の実施状況を把握、検討・評価した。</p> <p>2 健康増進法に基づき市町村が実施するがん検診等に従事する者の資質の向上を図るため、生活習慣病検診等管理指導協議会の各部会の指導のもとに、次の各検診従事者講習会を鳥取県健康対策協議会に委託して開催した。</p> <p>3 がん患者の動向を把握し、がん予防対策を効果的に推進するため、がん患者を登録し、罹患率、受診状況、生存率等の把握及び解析を行う「鳥取県がん登録」を鳥取県健康対策協議会に委託して実施した。</p> <p>4 がん検診の精密検査の精度管理を徹底するため相互評価、症例検討会を開催した。また、その状況を冊子にとりまとめ、今後の参考とした。 (鳥取県健康対策協議会に委託) [報告書] ・規格：A4版、モノクロ ・作成部数：750部 ・配布先：各種がん検診精密検査登録医療機関等 各都道府県 県内各市町村</p>
部会名		開催回数	開催日		
総合部会		2回	H25. 9. 12	H26. 3. 13	
循環器疾患等部会		2回	H25. 9. 7	H26. 1. 30	
胃がん部会		2回	H25. 7. 25	H26. 3. 1	
子宮がん部会		2回	H25. 8. 29	H26. 2. 16	
肺がん部会		2回	H25. 8. 1	H26. 2. 8	
乳がん部会		2回	H25. 8. 3	H26. 2. 13	
大腸がん部会		2回	H25. 8. 24	H26. 2. 6	
がん登録委員会		1回	H25. 8. 22		
講習会名		開催日	参加人員		
特定健診従事者講習会		H25. 9. 7	26名		
胃がん検診従事者講習会		H26. 3. 1	162名		
子宮がん検診従事者講習会		H26. 2. 16	49名		
肺がん検診従事者講習会		H26. 2. 8	71名		
乳がん検診従事者講習会		H26. 8. 3	77名		
大腸がん検診従事者講習会		H26. 8. 24	86名		
区分		開催期日	出席者数		
胃がん検診症例検討会		H26. 3. 1	162名		
子宮がん検診症例検討会		H26. 2. 16	49名		
肺がん検診症例検討会		H26. 2. 8	71名		
乳がん検診症例検討会		H26. 8. 3	77名		
大腸がん検診症例検討会		H26. 8. 24	86名		

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
胃がん死亡ゼロのまち中部プロジェクト事業	2,407,000	2,128,653	0	278,347	<p>胃がん死亡率が他圏域に比べ高く推移している中部地区において、胃がん死亡率を減少するため、管内の市町村・医師会・厚生病院等と連携して胃がん検診受診率向上を目指した取り組みを実施。</p> <p>(取組内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胃がん死亡ゼロ推進キャラバンの実施 (平成25年5月21日～24日、9月20日～27日) ・中部弁ラジオスポット (FM山陰) による啓発 (平成25年5月・9月) ・オリジナルの住民向け・かかりつけ医からの受診勧奨向け・企業の従業員向けの3種のチラシの作成 ・出前講座の実施 (14事業所)
石綿健康被害救済基金拠出事業	12,480,000	12,480,000	0	0	<p>石綿による健康被害への救済給付の財源として、(独)環境再生保全機構が設置した石綿健康被害救済基金へ負担金を拠出した。</p>
特定健康診査・特定保健指導推進事業	63,991,000	63,254,130	0	736,870	<p>1 特定健康診査・保健指導費負担金 国民健康保険法に基づき、市町村が実施した「高齢者の医療の確保に関する法律」の規定による特定健康診査及び特定保健指導に対し、その経費の3分の1を助成。 対象市町村：19市町村</p> <p>2 特定健診・保健指導従事者研修会 平成20年度に開始された特定健診・保健指導において、質の高い効果的な保健指導を実施する特定健診・保健指導の従事者の人材育成のための研修について、県と保険者協議会との共催により実施(8月～11月)した。 【開催回数】3回 【対象】保健師、管理栄養士、医師、看護師等 【参加人数】延299人 【内容】 ・特定健診・保健指導の評価 ・保健指導に活かす生活習慣病のメカニズム ・行動変容を促す保健指導</p>

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度 繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
健康増進事業	30,522,000	29,102,168	0	1,419,832	市町村が健康増進法に基づき実施する下記事業に要する費用の一部を補助した。 <ul style="list-style-type: none"> ・健康手帳の交付 健康管理と適切な医療の確保のために健康診査や健康教育等の記録を行う手帳を交付した。 ・健康教育 生活習慣病及び介護を要する状態の予防など健康に関する正しい知識の普及を図った。 ・健康相談 心身の健康に関する個別相談に応じ、必要な指導や助言を行った。 ・健康診査 生活習慣病の早期発見のため健康診査を行い、特に指導が必要な者には保健指導を実施した。 ・機能訓練 疾病、外傷、老化等により心身の機能が低下している者に対して、その機能回復に必要な訓練を行った。 ・訪問指導 療養上の保健指導が必要な方やその家族に対し、保健師等が訪問して必要な指導を行った。
元健康増進センター等庁舎管理費	3,445,000	2,242,798	0	1,202,202	元東部健康増進センター及び元中部健康増進センター管理に要する経費
生活習慣病予防対策事業 合計	412,289,000	330,436,441	0	81,852,559	
合計	1,610,311,000	1,330,416,275	8,298,000	271,596,725	

9 予備費の充用調べ 該当なし

10 繰越関係調べ

- (1) 継続費逐次繰越調べ 該当なし
 (2) 繰越明許費調べ

科目	事業名	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳				繰越理由	
				既収入特定財源		未収入特定財源			一般財源
				国庫支出金		国庫支出金			
公衆衛生費	風しん対策特別促進事業費	7,128,000	7,128,000	0		3,564,000	3,564,000	平成26年度当初予算で要求していた、妊娠を希望する女性等に対する医療機関での無料風しん抗体価検査について、国の経済対策に伴い前倒しで実施することとし、平成25年度2月補正予算に計上したが、年度内実施が困難なため繰越するもの	
	食物アレルギー対策推進事業	1,170,000	1,170,000				1,170,000	医療機関及び学校関係者向けのマニュアルの策定や県民向けパンフレットの策定に当初の予定より時間を要し、平成25年度中の完成が難しかったため	
合計									

(3) 事故繰越調べ 該当なし

11 収入証紙取扱額調べ

目	収入科目	目	件数	単価	証紙はりつけ額	備考
衛生手数料						
	計(節)					
	本庁執行分計(目)	0			0	
	出納機関執行分計(目)				672,800	東部・中部・西部福祉保健局栄養士免許手数料
	目計				672,800	
	合計				672,800	

12 収入事務処理状況調べ
 (1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料 (単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
行政財産使用料	行政財産使用料								
		計(節)	0	0	0	0	0		
	本庁執行分計(目)		0	0	0	0	0		
	出納機関執行分計(目)		3	30,156	30,156	0	0		精神保健福祉センター
	目計		3	30,156	30,156	0	0		
	合計		3	30,156	30,156	0	0		

(3) 手数料

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
衛生手数料	衛生手数料	栄養士免許等手数料	144	672,800	672,800	0	0	鳥取県手数料徴収条例第2条(67)~(69)	
		計(節)	144	672,800	672,800	0	0		
	本庁執行分計(目)		144	672,800	672,800	0	0		
	出納機関執行分計(目)		8	5,200	5,200	0	0		東部福祉保健事務所
	目計		152	678,000	678,000	0	0		
	合計		152	678,000	678,000	0	0		

(4) 財産収入

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
財産貸付収入	財産貸付収入	-	4	13,985,258	13,985,258	0	0	地方自治法第238条5	
		計(節)	4	13,985,258	13,985,258	0	0		
	本庁執行分計(目)		4	13,985,258	13,985,258	0	0		
	出納機関執行分計(目)		0	0	0	0	0		
	目計		4	13,985,258	13,985,258	0	0		
利子及び配当金	利子及び配当金	-	3	873,526	873,526	0	0	鳥取県基金条例	
		計(節)	3	873,526	873,526	0	0		
	本庁執行分計(目)		3	873,526	873,526	0	0		
	出納機関執行分計(目)		0	0	0	0	0		
	目計		3	873,526	873,526	0	0		
	合計		7	14,858,784	14,858,784	0	0		

(5) 寄附金 該当なし

(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	目	細節							
雑収入		建物賃借に係る水道・電気料負担金(25年度4月～3月分)	12	608,702	608,702	0	0		
		平成24年度感染症指定医療機関運営費補助金の返還	3	3,467,000	3,467,000	0	0	補助金等交付規則等	
		平成24年度国民健康保険特定健康診査・保健指導費負担金返還	16	8,421,000	8,421,000	0	0	補助金等交付規則等	
		平成24年度石綿健康被害救済給付業務委託費請求	1	5,960	5,960	0	0	補助金等交付規則等	
		結核医療費過誤調整返還金	3	3,482,557	3,482,557	0	0	補助金等交付規則等	
		平成24年度結核医療費国庫補助金の清算金	1	56,771	56,771	0	0	適正化法	
		平成24年度結核医療費国庫負担金の清算金	1	4,627,611	4,627,611	0	0	適正化法	
		公務災害認定(結核)による療養費補償費返還金	1	15,645	15,645	0	0	補助金等交付規則等	
		平成19年度鳥取県老人保健事業費負担金の超過交付による返還	1	87,000	87,000	0	0	補助金等交付規則等	
		平成24年度鳥取県健康増進事業費補助金の返還	18	18,263,000	18,263,000	0	0	補助金等交付規則等	
		平成24年度鳥取県難病患者等居宅生活支援事業費補助金に係る返還	12	2,652,000	2,652,000	0	0	補助金等交付規則等	
		平成24年度鳥取県予防接種事故対策費負担金の返還	2	166,068	166,068	0	0	補助金等交付規則等	
		非常勤・臨時職員雇用保険料(本人負担分)	48	36,421	36,421	0	0		
	本庁執行分計(目)	119	41,889,735	41,889,735	0	0			
	出納機関執行分計(目)		171,432	171,432	0	0		東・中・西部福祉保健局 精神保健福祉センター	
	目計		42,061,167	42,061,167	0	0			
	合計(一般会計)		42,061,167	42,061,167	0	0			

(7) 現金の取扱状況 該当なし

13 税外収入未済額調べ 該当なし

14 未収金回収促進のための取り組み状況 該当なし

15 税外収入不納欠損額調べ 該当なし

16 債務負担行為の状況調べ

事業名	種別	設定状況			当該事業の 契約額等	執行(支出)状況					備考	
		議決	期間	限度額		設定年度の 執行額A	24年度までの 執行額	25年度執行額	26年度以降 の執行予定 額	計B		合計 A+B
精神保健福祉センター清掃業務委託	その他	平成23年3月	平成24年度か ら平成26年度 まで	6,279,000	円	0	1,396,920	1,396,920	1,396,920	4,190,760	円	
精神保健福祉センター電話交換機等 賃借料	借上料	平成24年3月	平成25年度か ら平成27年度 まで	153,000	円	0	0	60,840	91,260	152,100	円	
感染症医療提供体制強化事業	その他	平成25年9月	平成25年度か ら平成27年度 まで	22,520,000	円	0	0	2,190,000	18,330,000	20,520,000	円	
とっとり健康家族ポータルサイト保守 運営業務委託	その他	平成25年3月	平成26年度か ら平成29年度 まで	432,000	円	0	0	0	432,000	432,000	円	
精神保健福祉センター電話交換機等 賃借料	借上料	平成25年3月	平成26年度か ら平成27年度 まで	3	円	0	0	0	3	3	円	消費税 率アップ 分
がん医療対策推進検討業務委託	その他	平成25年3月	平成26年度	委託料総額 9,000千円を 限度として、 平成25年度に 契約した額か ら平成25年度 に交付した額 を差し引いた 額	円	0	0	1,800,000	4,371,428	6,171,428	円	
合計				29,384,003	円	0	1,396,920	5,447,760	24,621,611	31,466,291	円	

17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(単位:円)

予算科目 (目)	予算額	区分	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令 名等(規約、要 綱等を含む。)	備考
精神衛生費									
支出金額が10万円未 満のもの									
本庁執行分計									
出納機関執行分計							60,000		精神保健福祉 センター
目 計							60,000		
生活習慣病予防対策 費	12,480,000	単県	石綿健康被害救 済基金負担金	(独)環境再生 保全機構	定額	26.2.7	12,480,000	石綿による健康被害 の救済に関する法 律第32条第2項	
支出金額が10万円未 満のもの							40,000		地域がん登録 全国協議会
本庁執行分計							12,520,000		
出納機関執行分計									
目 計							12,520,000		
合 計							12,580,000		

(2)補助金

予算科目(結核対策費)

① 国 補 分 該当無し

② 単 県 分

(単位:円)

補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	交付先	間 接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況		備考
							補助率及び 補助金額	交付申請 年月日	
結核予防費補助金 (昭和62年度)	(社)東部医 師会他55件		2,120,188	-	-	26.4.25外	精算	26.5.7外	1,412,443
私立学校、老人保健福祉 施設等が実施する結核 検診への補助			(補助率:2/3)	25.11.3外	-	-			
			1,412,443	25.12.13	26.4.7外	26.4.25外			
本庁執行分計									1,412,443
出納機関執行分計									0
単 県 分 計									1,412,443

予算科目(予防費)

① 国 補 分

(単位:円)

補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	交付先	間 接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況		備考
							補助率及び 補助金額	交付申請 年月日	
感染症指定医療機関運 営費補助金 (平成11年度)	鳥取県病院 管理者外2		16,842,526		-	-	概算	26.3.25	15,686,000
各指定医療機関の運営 に必要な経費についての 補助			(補助率:10/10う ち国1/2、県1/2)	25.4.16外	-	-			
			15,686,000	26.3.4	26.5.22外	26.5.22外			
予防接種事故対策負担 金 (平成14年度)	鳥取市外2 市町		13,066,430		-	-	概算	26.3.18	9,799,392
予防接種被害者への医 療費・医療手当・障害年 金の給付及び事故調査 委員会の開催			(補助率:3/4)	26.2.3外	-	-			
			9,799,392	26.3.12	26.4.15外	26.4.15外			
鳥取県地域医療再生基 金事業補助金(結核病床 整備事業) (平成25年度)	鳥取大学医 学部附属病 院		9,502,500		25.12.24	26.4.25	精算	25.5.2	4,751,000
結核患者発生時の円滑 な患者受入れを図るた め、結核病床の病室個室 化のための施設整備費 の一部を補助			(補助率:1/2)	25.10.16	26.3.10	26.3.18			
			4,751,000	25.10.28	26.4.18	26.3.18			
鳥取県地域医療再生基 金事業補助金(感染症医 療提供体制強化事業) (平成25年度)	鳥取大学医 学部附属病 院		2,190,000		25.10.25	26.5.2	精算	26.5.16	2,190,000
感染症専門医養成のた めの体制整備として感染 症科に新たに1名の専門 医を配することとし、その 経費について助成を行 う。(平成27年度までの3 年間の債務負担行為)			(補助率:10/10)	25.10.22	-	26.4.28			
			2,190,000	25.10.25	26.4.18	-			
本庁執行分計									32,426,392
出納機関執行分計									0
国 補 分 計									32,426,392

② 単 県 分

(単位:円)

補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	交付先	間 接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況		備 考	
				交付申請 年月日	完了 年月日	検 査 年月日	概算 精算 の別	支 出 年月日		金 額
事業の内容				交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日				
	鳥取県風しんワクチン接種費緊急助成補助金 (平成25年度)	19市町村		18,351,356	-	-	26.5.8	精算	26.5.15	9,166,000
風しんワクチン接種費用等の減免を行う市町村への助成	(補助率:1/2)			(25.7.29外) 26.3.28外	-	-				
	9,166,000			(25.8.2) 26.3.31外	26.4.24外	26.4.24外				
本庁執行分計									9,166,000	
出納機関執行分計									0	
単 県 分 計									9,166,000	

予算科目 (特定疾患対策費)

① 国 補 分 該当なし

② 単 県 分 該当なし

予算科目 (健康づくり推進費)

① 国 補 分

(単位:円)

補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	交付先	間接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況		備考	
				交付申請 年月日	完了 年月日	検査 年月日	概算 精算 の別	支出 年月日		金額
事業の内容			補助率及び 補助金額	交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日				
鳥取いのちの電話支援 事業費補助金 (平成13年度)	(社福)鳥取 いのちの電 話		3,426,000	-	-	25.5.1	概算 精算	25.5.13	3,200,000	
相談員の養成、資質向上 及び無料通話化の取組 への支援			(補助率:定額)	25.4.12	-	-		25.5.19	▲ 315,031	
			3,200,000	25.5.1	26.4.11	25.4.22		計	2,884,969	
鳥取県自死遺族支援団 体に対する補助金 (21年度)	自死遺族自 助グループ コスモスの 会		1,033,273	-	-	26.7.8	概算 精算	25.4.18	938,000	
自死遺族支援団体を支 援し、分かち合いの場の 運営や人材養成に助成 することにより、活動の定 着や自助グループの自 立を図る			(補助率:4/5、 10/10)	25.4.6	-	-				
			938,000	25.4.12	26.6.10	-		計	938,000	
鳥取県市町村自殺対策 緊急強化交付金 (21年度)	鳥取市 外16市町		11,442,329	25.4.4	-	26.5.20	精算 精算	26.5.27	11,442,329	
自殺することを考えてい る者の個々の悩みに応じ たきめ細かな相談支援等 を行うため、市町村が自 ら事業を実施したり、民間 団体への委託、補助又は 助成により事業を実施す ることにより、地域におけ る自殺対策を促進するこ とを図る			(補助率:定額)	26.4.18外	-	-				
			11,442,329	25.5.20外	26.4.21外	25.5.7外				
本庁執行分計									15,265,298	
出納機関執行分計									0	
国 補 分 計									15,265,298	

② 単 県 分

(単位:円)

補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	交付先	間接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況		備考	
				交付申請 年月日	完了 年月日	検査 年月日	概算 精算 の別	支出 年月日		金額
事業の内容			補助率及び 補助金額	交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日				
鳥取県「食の応援団」支 援事業費補助金 (平成11年度)	鳥取県食生 活改善推進 員連絡協議 会		2,253,000	-	-	26.4.23	概算 概算 概算	25.5.17	751,000	県民のより 一層の生活 習慣改善を 図り、健康 寿命の延伸 を推進する 必要がある。 。
食生活改善講習会、教育 研修、組織強化事業への 助成			(補助率:定額)	25.3.22	-	-		25.8.21	751,000	
			2,253,000	25.4.1	26.4.10	26.4.17		計	2,253,000	
鳥取県「食の応援団」支 援事業費補助金 (平成11年度)	(社)鳥取県 栄養士会		2,790,000	-	-	26.5.12	概算 概算	25.7.9	930,000	県民のより 一層の生活 習慣改善を 図り、健康 寿命の延伸 を推進する 必要がある。 。
栄養教室、食育教室の開 催や加工食品栄養成分 表示推進事業への助成			(補助率:定額)	25.3.27	-	-		25.8.21	930,000	
			2,790,000	25.4.1	26.4.15	26.4.25		計	2,790,000	

(単位:円)

補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	交付先	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備考
			交付申請 年月日	完了 年月日	検査 年月日	概算払 精算払 の別	支出 年月日	金額	
事業の内容		補助率及び 補助金額	交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日				
鳥取県ウォーキング立県 推進事業補助金 (平成22年度)	米子ケヤキ 通り振興会	65,294	-	-	25.6.27	精算	25.7.10	32,000	
ウォーキング大会の開催 経費に補助(拡充)		(補助率:1/2) 32,000	25.4.15	-	-				
鳥取県ウォーキング立県 推進事業補助金 (平成22年度)	琴浦町合併 10周年記 念プレ事業 実行委員会 キックオフ イベント ウォーキン グ大会専門	642,600	-	-	25.10.28	概算	25.9.9	250,000	
ウォーキング大会の開催 経費に補助(新規)		(補助率:1/2) 250,000	25.7.16	-	-				
鳥取県ウォーキング立県 推進事業補助金 (平成22年度)	全日本フル ディック・ ウォーク連 盟鳥取県西 部支部	207,000	-	-	25.10.30	精算	25.11.12	103,000	
ウォーキング大会の開催 経費に補助(新規)		(補助率:1/2) 103,000	25.7.23	-	-				
鳥取県ウォーキング立県 推進事業補助金 (平成22年度)	鳥取市南商 工会	195,807	-	-	25.12.2	精算	25.12.18	97,000	
ウォーキング大会の開催 経費に補助(新規)		(補助率:1/2) 97,000	25.9.11	-	-				
鳥取県ウォーキング立県 推進事業補助金 (平成22年度)	全日本フル ディック・ ウォーク連 盟鳥取県西 部支部	231,000	-	-	25.11.15	精算	25.11.25	110,000	
ウォーキング大会の開催 経費に補助(新規)		(補助率:1/2) 110,000	25.9.13	-	-				
鳥取県ウォーキング立県 推進事業補助金 (平成22年度)	特定非営利 活動法人未 来	511,650	-	-	26.4.11	精算	26.4.28	250,000	
ウォーキング大会の開催 経費に補助(新規)		(補助率:1/2) 250,000	26.2.14	-	-				
鳥取県ウォーキング立県 推進事業補助金 (平成22年度)	JA鳥取県 中央会	536,186	-	-	26.4.4	精算	26.4.15	250,000	
ウォーキング大会の開催 経費に補助(新規)		(補助率:1/2) 250,000	26.2.14	-	-				
鳥取県ウォーキング立県 推進事業補助金 (平成22年度)	山陰近畿自 動車道馳 山バイパス 開通記念イ ベント実行 委員会	754,238	-	-	26.4.17	概算	26.3.17	250,000	
ウォーキング大会の開催 経費に補助(新規)		(補助率:1/2) 250,000	26.2.14	-	-				
本庁執行分計								6,385,000	
出納機関執行分計								0	
単 県 分 計								6,385,000	

予算科目 (生活習慣病予防対策費)

(単位:円)

① 国 補 分									
補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	交付先	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備考
			交付申請 年月日	完了 年月日	検査 年月日	概算 精算 の別	支出 年月日	金額	
事業の内容		補助率及び 補助金額	交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日				
鳥取県がん診療連携拠点病院機能強化事業補助金 (平成19年度)	県立中央病院 外2病院	50,400,000	-	-	-	概算	26.3.25	50,400,000	
拠点病院が実施する次の事業を財政支援する。 ①研修への派遣・実施 ②連携協議会の設置・開催 ③院内がん登録の促進 ④患者等への相談支援 ⑤普及啓発・情報提供		(補助率:10/10 うち国1/2、県1/2)	25.12.12外	-	-				
鳥取県休日がん検診実施支援補助金 (平成21年度)	鳥取市外 17市町村	4,590,000	-	-	-	概算	26.3.24	2,978,000	
市町村が実施する休日がん検診についてその経費の一部を補助		(補助率:2/3うち 国1/2、県1/2)	25.10.15外	-	-				
がん専門医療従事者育成支援負担金 (平成22年度)	米子医療センター外5 病院	2,940,200	-	-	-	概算	26.3.27	1,952,000	
がん診療連携拠点病院が、医師以外のがん専門医療従事者の育成に要する経費の一部を補助		(補助率:2/3うち 国1/2、県1/2)	25.10.21外	-	-				
がん専門医資格取得支援負担金 (平成23年度)	米子医療センター外4 病院	444,570	-	-	-	概算	26.3.27	292,000	
県内病院が、医師の資格取得に要する経費の一部を補助		(補助率:2/3うち 国1/2、県1/2)	25.10.21外	-	-				
鳥取県院内がん登録拡大支援事業補助金 (平成23年度)	鳥取赤十字病院外4 病院	11,506,000	-	-	26.5.14	精算	26.5.23	10,494,000	
院内がん登録に取り組む県内医療機関(がん診療連携拠点病院以外)に対し必要な経費を補助		(補助率:10/10 地域医療再生基金)	25.7.4外	-	-				
健康増進事業費補助金 (平成20年度)	鳥取市外 18市町村	48,328,753	25.10.16	-	-	概算	26.3.27	29,031,000	
市町村が実施する健康増進事業についてその経費の一部を補助		(補助率:2/3うち 国1/2、県1/2)	25.11.22外	-	-				
30,752,000									
本庁執行分計								95,147,000	
出納機関執行分計									
国 補 分 計								95,147,000	

② 単 県 分

(単位:円)

補助金等の 名称 (補助金等の創設年度)	交付先	間 接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備 考
				交付申請 年月日	完了 年月日	検 査 年月日	概算払 精算払 の別	支 出 年月日	(支出年月日) 金 額	
事業の内容	補助率及び 補助金額	交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日	概算 概算	計				
							鳥取県健康対策協議会 事務局強化対策費負担金 (平成4年度)	鳥取県健康 対策協議会		3,616,000
鳥取県健康対策協議会の 体制強化を図るため、 同協議会事務局経費の 一部を負担するもの	(補助率:定額)	25.3.28	26.3.31	26.4.25	26.1.15	779,000				
	3,616,000	25.5.2	26.4.18	26.4.25	計	3,616,000				
鳥取県大腸がん検診特別 推進支援補助金 (平成22年度)	鳥取市外5 市町		1,087,580	-	-	26.5.9	精算	26.5.23	452,000	
市町村が実施する大腸 がん検診についてその経 費の一部を補助			(補助率:1/2)	25.7.19外	-	-				
			542,000	25.8.13	26.3.26外	26.3.28外				
平成25年度鳥取県国民 健康保険特定健康診査・ 保健指導費負担金 (H20年度)	鳥取市外18 市町村		189,286,410	-	-	-	概算	25.7.25	63,088,000	
市町村の実施する特定健康 審査等の事業への負担金			(補助率:1/3)	25.5.24	-	-				
			63,088,000	25.6.21	26.4.18外	-				
平成24年度鳥取県国民健 康保険特定健康診査・保健 指導費負担金 (H20年度)	若桜町外2 町		4,579,000	25.5.24	-	26.3.13	精算	25.3.20	335,000	H24年度交付 決定に係る 増額分
市町村の実施する特定健康 審査等の事業への負担金 実施する特定健康診査等の 事業への負担金			(補助率:1/3)	24.6.8	25.4.19	25.4.19				
			335,000	24.6.26	25.4.19	25.4.19	戻入	26.3.3	-277,000	
鳥取県8020運動推進事 業費補助金 (平成19年度)	(社)鳥取県 歯科医師会		492,402	-	-	25.11.28	精算	26.3.20	100,000	
8020運動の普及啓発、具 体的施策を支援するた めの助成			(補助率:定額)	25.6.26	25.10.24	-				
			100,000	25.7.1	25.11.25	25.11.26				
本庁執行分計									67,314,000	
出納機関執行分計									0	
単 県 分 計									67,314,000	

(2-2)補助金(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの) 該当なし

(3)交付金 該当なし

(4)委託料

(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料 の名称	委託契約 の相手方	当初契約			完了		支出の状況			備 考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約期間	入札等年月日 (契約金納 付等年月日)	完 年月日	支出区分	支 出 年 月 日	金 額	
公衆衛生総務費	国補	放射線測定機 器校正業務	千代田テク ノル大阪 営業所	3,555,300	(25.12.27) 3,013,500	25.12.27 ~ 26.3.25	25.12.20 (免除)	26.3.25	精算	26.4.8	3,013,500	
予定価格が20万円未満のもの												
本庁執行分計											8,190	
出納機関執行分計											3,021,690	
目計											3,021,690	
結核対策費												
予定価格が20万円未満のもの												
本庁執行分計											109,236	
出納機関執行分計											109,236	
目計											6,779,888	東・中・西福祉保健局
予防費	国補	平成25年度 保健所HIV- 性感染症検 診等に係る検 体検査委託 料	(株)フアル コバイオシ ステムズ	4,012,942	(25.4.1) 1,102円/件外	25.4.1 ~ 26.3.31	25.3.21 (免除)	26.3.31	精算	25.5.28 外	3,020,869	
予定価格が20万円未満のもの												
本庁執行分計											0	
出納機関執行分計											3,020,869	
目計											0	
											3,020,869	

(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の 別	委託料の名称	委託契約 の 相手方	当初契約		契約		完了 年月日	支出の状況		備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約期間	入札年月日 (契約保金納 付年月日)		支出区分	支出 年月日	
精神衛生費											
予定価格が20 万円未満のもの											
本庁執行分計											0
出納機関執行 分計											0
目計											1,916,486 1,916,486
		重症難病患者 入院施設確保 事業委託	国立大学 法人鳥取 大学	(25.4.1) 6,047,000	25.4.1 ~ 26.3.31	25.3.27 (免除)	26.3.31	概算	26.3.6 26.3.10 長入26.5.26 計	3,023,500 3,023,500 △ 115,652 5,931,348	難病患者等からの相談に応 じるなど業務に特殊性、専 門性があり、事業を円滑に 運営するため。
	国補	難病相談・支 援センター事 業委託	国立大学 法人鳥取 大学	(25.4.1) 5,629,000	25.4.1 ~ 26.3.31	25.3.27 (免除)	26.3.31	概算	26.2.28 26.3.10 長入26.5.26 計	2,814,500 3,354,500 △ 367,783 5,801,217	難病患者等からの各種相談 に応じる専門知識及び整備 された関連施設が必要なた め。
特定疾患 対策費	国補	特定疾患・血 液疾患医療費 審査支払事務 委託	鳥取県国 民健康保 険団体連 合会外1	(49.10.31外) @111.60外	25.4.1 ~ 26.3.31	(免除)	26.3.31	精算	25.5.20 外	5,326,261	厚生労働省通知により、委 託先が定められているた め。契約は年次自動更新。
	単県	特定疾患等医 療費支払デー タ作成事務委 託	アイビー システム (株)	(25.4.1) 252,000	25.4.1 ~ 26.3.31	25.3.27 (免除)	26.3.31	精算	26.5.16	252,000	
	単県						26.4.9				
予定価格が20 万円未満のもの											0
本庁執行分計											17,310,826
出納機関執行 分計											6,775,746
目計											24,086,572

東部福祉保健局、中部福祉
保健局、西部福祉保健局

(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等年月 日 (契約原金納 付等年月日)		完了 年月日	支出の状況		備考
				予定価格	契約年月日 契約額 変更契約(最終)	契約期間	契約形態	履行検査 年月日		支出区分	支出 年月日	
									契約年月日 契約額			
	国補	とっとりひきこもり生活セ ンター事業委託	特定非営利法 団法人鳥取青 少年ピアサポ ート	7,042,000	(25.4.1) 7,042,000	25.4.1 ~ 26.3.31		26.3.31 26.5.14	概算	25.4.26 25.8.13 25.10.10 26.2.27 26.5.28	1,761,000 1,760,000 1,761,000 1,760,000 366,520 6,675,480	
	国補	かかりつけ医心の健 康対応力研修	(一社)鳥取 県東部医師 会 外2	780,000	(25.4.19) 780,000	25.4.19 ~ 26.3.31	(免除)	26.3.31 26.4.14 外 外	精算	25.12.5 外	773,984	
	国補	かかりつけ医と精神科 医との連絡会議委託	(公社)鳥取 県医師会	451,000	(25.4.19) 451,000	25.4.19 ~ 26.3.31	(免除)	26.3.31 26.5.12	精算	26.5.27	425,908	
健康県づくり推進費	基金	精神医療関係者研修	(公社)鳥取 県医師会	760,000	(25.4.19) 760,000	25.4.19 ~ 25.3.31	(免除)	26.3.31 26.4.11	精算	26.5.27	760,000	
	基金	自殺予防啓発に係る 広告掲載業務	広告代理店 ハチカル 外1	1,736,230	(25.4.1) 1,736,280	25.4.1 ~ 26.3.31	(免除)	26.3.31 26.4.3	概算 精算	25.4.9 外	1,736,280	
	基金 国補	糖尿病予防対策連携 強化事業委託	(公社)鳥取 県医師会	1,457,000	(25.4.15) 1,457,000	25.4.15 ~ 26.3.31	25.4.12 (免除)	26.3.31 26.4.28	精算	26.5.26	1,170,628	県内医師の協力を取り付 けて全県的に事業を実施 していくことができる団体 が他にないため。

(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額			支出 年月日	金額		
					変更契約(最終)	契約期間					
健康づくり推進 費	単 県	平成25年度「健康づく り文化推進事業」業務 実施委託	株式会社よみ うり企画	543,000	(25.4.16)	25.4.16 ~ 26.3.31	25.10.19	精算	25.11.28	506,100	平成23年度のプロポー ザルで採用された企画提 案の内容に沿って、前年 度に引き続き事業を実施 するため。なお、事業実 施内容が優良であったた め、引き続き同社と随意 契約を行ったもの。
					()		25.11.13				
	単 県	鳥取県ケータイで健康 づくりウォーキングシ ステム保守管理業務 委託	富士通株式会 社鳥取支店	1,782,000	(24.4.1)	25.4.1 ~ 26.3.31	26.3.31	精算	26.4.21	1,871,100	新規 システムを構築した者しか 保守管理ができないた め。
					()		26.4.4				
単 県	平成25年度「ウォー キング立県19のまち を歩こう事業」及び 「ケータイで健康づく りウォーキング推進事	「ウォーキング 立県19のまち を歩こう」実行 委員会	2,739,000	(25.4.15)	25.4.15 ~ 26.3.31	26.3.31	概算	25.4.25	2,739,000	意志決定機関と実施機関 がどちらとも実行委員会 であり、他に実施できる団 体がないため。	
				()		26.4.10	戻入	26.4.17	△ 51,346	2,687,654	
予定価格が20万 円未満のもの										714,950	
本庁執行分計										17,322,084	
出納機関執行分										163,800	東部、西部福祉保健局 (自殺対策)
目 計										17,485,884	

(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単費 の別	委託料の名称	委託契約 の相手方	当初契約			完了 年月日 履行検 査年月 日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額			支出 年月日	金額		
					変更 (契約年月日) 契約額	契約期間					
生活習慣病予防対策費	国補	むし歯予防フッ 化物洗口事業委 託	(社)鳥取 県歯科医 師会	4,192,000	(25.4.15) 4,192,000	25.4.15 ~ 26.3.31	25.4.8 (免除)	26.3.31	26.3.23	3,192,673	歯科医療に関し専門的技術、知識 を有しているため
	国補	歯と口の健康週 間事業委託料	(社)鳥取 県歯科医 師会	290,000	(H25.4.5) 290,000	25.4.5 ~ 25.6.30	(免除)	25.6.28 25.7.16	25.7.29	290,000	
	単費	子どもの口腔機 能向上のための 歯科医師対応力 向上研修委託	(社)鳥取 県歯科医 師会	648,000	(25.6.28) 648,000	25.6.28 ~ 26.3.31	25.6.24 (免除)	26.3.31 26.5.8	26.5.22	648,000	
	国補	鳥取県がん診 療連携協議会放 射線治療部会運 営委託	国立大学 法人鳥取 大学	5,632,000	(25.4.1) 5,632,000	25.4.1 ~ 26.3.31	25.3.27 (免除)	26.3.31	26.5.26	5,631,945	国指定の都道府県がん診療連携拠点病院である 当該相手方以上に院内がん登録及びがん医療 全般について高度で専門的な知識・技術を持つ 病院はないため。
	国補	鳥取県がん診 療連携協議会放 射線治療部会運 営委託	国立大学 法人鳥取 大学	464,000	(25.4.1) 464,000	25.4.1 ~ 26.3.31	25.3.27 (免除)	26.3.31	26.5.26	64,110	
	単費	生活習慣病検診 等精度管理委託	鳥取県健 康対策協 議会	15,602,000	(25.4.1) 15,602,000	25.4.1 ~ 26.3.31	25.3.28 (免除)	26.3.31	25.6.11 25.7.18 25.10.10 26.1.15 戻入26.5.22 計	6,179,000 2,800,000 3,734,000 2,889,000 △ 307,923 15,294,077	事業開始時からの情報蓄積があ り、個人情報取扱いのため。
	国補	健康政策事業に 係る新聞広告掲 載業務下期分 (委託料部分)	(株)新日 本海新聞 社	2,283,750	(25.9.27) 2,283,750 (26.3.20)	25.10.1 ~ 26.3.31	25.9.26 (免除)	26.3.22	26.4.18	2,236,500	新聞広告の掲載のため
	国補	がん検診受診率 向上総合啓発業 務	(株)エム アンドエ ムドット コー ポ	6,180,000	(25.8.8) 6,170,850	25.8.8 ~ 25.11.30	25.7.31 (免除)	25.11.26	26.1.6	6,170,850	プロポーザルにより業者を決定した ため。
	国補	がん検診啓発オ リジナルトレッ トパー作製 事業委託	(株)シセ イ堂デザ イン	2,037,000	(25.9.2) 2,037,000	25.9.2 ~ 25.9.30	25.8.27 (免除)	25.9.26	25.10.21	2,037,000	本事業はH23・24年度に制作した5がん、大腸が ん検診啓発物品の追加制作型及びがん検診啓 発物品の新規制作であり、版権保護及びサイ ン統一のため、H23・24年度の製作者と契約し たもの。

(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単費 の別	委託料の名称	委託契約 の 相手方	当初契約			完了 年月日 履行検 査年月 日	支出の状況			備 考
				予定価格	(契約年月日)			支出区 分	支出 年月日	金額	
					契約額	契約期間					
生活習慣病予防対策費	単費	元中部健康増進 センターの機械 警備委託料	(株)ALS OK山陰	202,000	(25.4.1) 201,600	25.4.1 ~ 26.3.31	26.3.31	精算	25.5.13 外	201,600	
					()	~					
	単費	元中部健康増進 センターの自家 用電気工作物保 安管理委託料	(財)中国 電気保安 協会	203,679	(25.4.1) 203,679	25.4.1 ~ 26.3.31	26.3.31	前金	25.4.25	203,679	
					()	~					
国補	国補	ストップ肝臓がん 総合啓業務実 施委託	(株)よみ うり企画	3,024,000	(25.6.19) 3,024,000	25.6.19 ~ 25.7.31	25.7.31	精算	25.8.30	3,024,000	新規 プロポーザルにより業者を決定した ため。
					()	~					
国補	国補	がん医療等対策 推進モデル事業 委託	国立大学 法人鳥取 大学	6,000,000	(25.12.3) 6,000,000	25.12.3 ~ 27.3.31	25.10.18	前金	26.2.28	1,800,000	新規 公募により事業実施者を選考したた め。
					()	~					

(4-2) 委託料(他課から予算の配当替えをうけて執行したもの)

(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の 別	委託料 の 名 称	委託契約 の 相手方	当初契約		完了 年月日	支出の状況			備考	
				予定価格	契約年月日 (契約額)		契約期間	支出区分	支出年月日		金額
母子保健指導振興費		生活習慣病 検診等精度 管理委託事 業	鳥取県健 康対策協 議会	371,000 (25.4.1) 371,000	25.4.1 ~ 26.3.31	25.3.28 (免除)	概算	25.6.11 25.10.10	270,000 101,000	事業開始時からの情 報蓄積があり、個人情 報を扱うため。	
予定価格が20万円未満のもの									0		
本庁執行分計									371,000		
出納機関執行分計									0		
目計									371,000		

18 工事請負費調べ 該当なし

18-2 工事請負費調べ(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)

該当なし

19 財産に関する調べ

(1) 公有財産
了土地

(平成26年3月31日現在)

行政 普通財産 の区分	機 施 名 等	又 は	所 在 地	前 年 度 末		本 年 度 異 動 状 況						本 年 度 末		備 考	
				面 積 (㎡)	価 額 (円)	増 減 別	異 動 日	面 積 (㎡)	価 額 (円)	増 減 理 由	登 記 年 月 日	面 積 (㎡)	価 額 (円)		
普通財産	東 部 健康 センター 七 (いなばじ)	立 健康 増進 センター 七	鳥 取 市 松 原	5,155.76	不明	増加						5,155.76	不明		
						減少									
普通財産	東 部 健康 増進 センター 七	立 健康 増進 センター 七	鳥 取 市 立 川 町	3,379.00	不明	増加						3,379.00	不明		
						減少									
普通財産	東 部 健康 増進 センター 七	立 健康 増進 センター 七	鳥 取 市 松 原	117,327.54	不明	増加						117,327.54	不明		未 利 用 財 産 有 り
						減少									
計			東 伯 郡 湯 梨 浜 町	19,456.37	不明	増加						19,456.37	不明		未 利 用 財 産 有 り
						減少									
計				145,318.67								145,318.67			
合計				145,318.67								145,318.67			

イ 建物

(平成26年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況					本年度末		備考
			面積 (m ²)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (m ²)	価額 (円)	増減理由	登記年月日	面積 (m ²)	
行政財産	鳥取県立精神保健福祉センター	鳥取市江津	1,013.41	208,485,849	増加					1,013.41	208,485,849	
計			1,013.41	208,485,849	減少					1,013.41	208,485,849	
普通財産	鳥取県立東部健康増進センター	鳥取市松原	2,583.54	436,555,403	増加					2,583.54	436,555,403	
	鳥取県立中部健康増進センター	東伯郡湯梨浜町	3,035.39	741,698,538	減少					3,035.39	741,698,538	
計			5,618.93	1,178,253,941	増加					5,618.93	1,178,253,941	
合計			6,632.34	1,386,739,790	減少					6,632.34	1,386,739,790	

ウ 山林
該当なし

エ 不動産売却等
該当なし

オ 財産の交換
該当なし

カ 不動産 (船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)
該当なし

キ 物権
該当なし

ク 無体財産権 (特許権、著作権、商標権、実用新案権等)
該当なし

ケ 有価証券
該当なし

コ 出資による権利

(平成26年3月31日現在)

区 分	前年度末 (数量、金額)	本 年 度 中		本年度末 (数量、金額)	法 人 名	備 考
		増	減			
出えん金	円 200,000	円 -	円 -	円 200,000	財団法人 鳥取県保健事業団	
合 計	200,000	-	-	200,000		

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成26年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手類	円 32,790	円 240,198	円 252,394	円 20,594	
収入印紙	-	-	-	-	
収入証紙	-	-	-	-	
タクシークーポン券	-	-	-	-	
鉄道バスプリペイドカード	-	-	-	-	
合 計	32,790	240,198	252,394	20,594	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成26年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
65枚	一枚	27枚 21,200円	38枚

(3) 基 金

(鳥取県自殺対策緊急強化基金)

(平成26年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		増	減		
(内閣府) 現金	72,098,818円	20,399,070円	(35,956,336)円 35,956,336	(△35,956,336)円 56,541,552	()は出納整理期間中における増減額 平成26年5月30日取崩し
合 計	72,098,818円	20,399,070円	(35,956,336)円 35,956,336	(△35,956,336)円 56,541,552	

(鳥取県ワクチン接種緊急促進基金)

(平成26年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		増	減		
現金	円 113,276,618	円 696,817	円 113,973,435	円 0	平成25年6月28日 取り崩し
合 計	円 113,276,618	円 696,817	円 113,973,435	円 0	

(4) 債 権

(平成26年3月31日現在)

債権の名称	前年度末		本年度中				本年度末		備 考
	金 額	件数	増		減		金 額	件数	
			金 額	件 数	金 額	件 数			
鳥取県保健事業 団総合保健セン ター用地貸付	円 61,349,121	1	円 0	0	円 6,816,569	0	円 54,532,552	1	
旧中部健康増進 センター貸付料	4,276,142	2		0	2,138,071	0	2,138,071	2	
旧中部健康増進 センター配電線 用地貸付料	57,000	1		0	28,500	0	28,500	1	
「ウェルネス・ イン因幡路」用 地	120,050,832	1		0	5,002,118	0	115,048,714	1	
合 計	185,733,095	5		0	13,985,258	0	171,747,837	5	

20 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 (行政財産なし)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先住氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
普通財産	電力供給のための配電線施設設置	東伯郡湯梨浜町南梨谷	電柱9本 支線5条 支柱3本 管路1.52m ² 支柱1本	22.4.1	57.7.15	22.4.1	22.4.1	28,500円	倉吉市駄経寺町245-6 中国電力㈱倉吉営業所	元中部健康増進センター用地
					59.12.10					
					3.9.10					
					11.4.1					
(財)保健事業団中部支部駐車場	" "	" "	94.5m ² 161.25m ²	22.9.1	12.4.1	22.9.1	58,780円 85,461円	鳥取市富安二丁目94番4 (財)鳥取県保健事業団	"	
				22.8.30	22.9.1	22.8.30				
					22.8.30					
					22.8.30					
「ウエルネス・イン因幡路」用地	" "	" "	5,155.76m ²	19.3.26	19.3.26	19.3.26	5,002,118円	神奈川県横浜市中区山下町24番地605(株)シンリョウ	会社分割による契約書名義変更有	
(財)鳥取県保健事業団総合保健センター用地	鳥取市立川町6丁目	" "	3,379.00m ²	4.7.2	4.7.2	4.7.2	6,816,569円	鳥取市富安二丁目94番4 (財)鳥取県保健事業団	"	
計							11,991,428円			
合計							11,991,428円			

イ 建物

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先住氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
普通財産	(財)鳥取県保健事業団中部支部として	東伯郡湯梨浜町南梨谷	195.04m ²	24.4.1	22.8.30	22.8.30	1,993,830円	1,993,830円	鳥取市富安二丁目94番4 (財)鳥取県保健事業団	元中部健康増進センター
計							1,993,830円			
合計							1,993,830円			

(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの）

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料			
簡易型陰圧式HEPA空気清浄機	2	米国ENVIRCO社製「アイツリ」	24.4.1 ～ 27.3.31	単価 無料	0円	済生会境港総合病院	第二種感染症指定医療機関としての機能を高めるため	
"	1	"	"	単価 無料	0円	鳥取県立厚生病院	"	
"	3	"	"	単価 無料	0円	鳥取県立中央病院	"	
合計					0円			

- 2 1 借受不動産明細調べ 該当なし
- 2 2 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ 該当なし
- 2 3 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ 該当なし
- 2 4 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

25 備品の処分状況調べ

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用 年数	取得価格 円	不用決定年月 日	不用とする 理由	処 分				備 考
							売却 棄却の別	売却方法・ 棄却理由	処分 年月日	売却額・処分 費用 円	
ベンチ	1	50.03.31	15	39,570	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
ベンチ	1	50.03.31	15	39,570	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
ベンチ	1	50.03.31	15	58,360	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
ベンチ	1	50.03.31	15	58,360	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
ベンチ	1	50.03.31	15	58,360	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
ベンチ	1	50.03.31	15	58,360	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
ベンチ	1	50.03.31	15	50,510	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
ベンチ	1	50.03.31	15	50,510	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
ベンチ	1	50.03.31	15	50,510	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
ベンチ	1	50.03.31	15	50,510	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
総合調理機	1	51.03.30	5	69,800	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
薬品冷蔵ショーケース	1	57.07.16	15	180,000	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
遠心沈澱器	1	50.03.31	5	60,000	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
オートクレーブ	1	50.07.17	5	394,250	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
脂肪測定器	1	55.03.28	5	34,000	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
サーモミキサー	1	57.07.16	5	30,000	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
遠心分離器	1	57.07.16	5	181,000	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
身長計	1	57.07.16	5	32,000	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
体重計	1	57.07.16	5	43,000	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
シャーカステン	1	57.07.16	5	30,000	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
上体そらし測定台	1	57.07.16	15	42,500	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
オーゾメータ	1	57.10.08	5	395,600	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
聴力検査室	1	57.10.08	6	389,500	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
エルゴメーター	1	57.07.16	5	110,000	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
エルゴメーター	1	57.07.16	5	110,000	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
オーゾメータ	1	57.10.08	5	395,600	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
肺機能測定装置	1	63.08.25	5	785,000	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
解析機能付 6チャンネル心電計	1	01.06.10	5	2,575,000	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
無散瞳眼底カメラ	1	02.06.15	5	1,812,800	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
心電図自動解析装置	1	03.08.23	5	2,546,160	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
無散瞳眼底カメラ	1	03.07.25	5	1,954,940	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
心電図自動解析装置	1	05.06.29	5	2,544,100	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
眼底カメラ	1	07.06.29	5	1,797,350	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
恒温槽	1	50.03.31	5	50,000	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
純水製造装置	1	57.07.16	5	652,000	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
卓上小型自動滅菌器	1	57.10.08	5	230,000	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
化学天秤	1	57.07.16	5	126,000	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
呼吸機能 自動解析装置	1	61.06.04	5	2,278,000	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
オーゾメータ	1	57.10.08	5	395,600	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
芝刈機	1	58.03.05	5	140,000	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
顕微鏡	1	50.07.17	5	294,750	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
顕微鏡	1	55.03.28	5	334,500	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
写真機	1	59.07.03	5	44,400	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
電気掃除機	1	57.07.16	5	48,800	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
電気掃除機	1	57.07.16	5	48,800	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
洗滌機	1	51.03.23	5	220,000	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
基礎食品模型	1	55.03.28	8	72,000	H25.6.28	使用不能	棄却	使用不能	25.06.28	0	
合 計	47			21,962,070						0	

26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし

27 貸付金等状況調べ 該当なし

○ 意見・要望等 なし